

設計図書等に対する質問回答（令和6年7月22日大型公告分）

令和6年7月22日大型公告分の案件について(お知らせ)

**(重要)【低入札基準価格及び固定型最低制限価格の算定式の改正について】**

平成30年7月1日から固定型最低制限価格の算定式を改正しています。改正の内容については、明石市ホームページに掲載していますのでご参照願います。

(URL : [http://www.city.akashi.lg.jp/zaimu/keiyaku\\_ka/documents/20180701-teinyuusatuchousakijyunnkakaku-koteigatasaiteseigennkakaku.pdf](http://www.city.akashi.lg.jp/zaimu/keiyaku_ka/documents/20180701-teinyuusatuchousakijyunnkakaku-koteigatasaiteseigennkakaku.pdf))

工 事 名	明石市役所新庁舎建設工事
-------------	--------------

	質問内容	資料名及び ページ番号
	(共通)	
1.	<STEP3>開発3工区外構整備については、本工事の対象工事外ですが、別途公告され一般競争入札となる見込みでしょうか。もしくは本工事受注者にて随意契約となる予定でしょうか。	入札説明書 P.1
回 答	現時点では一般競争入札を想定していますが、今後の事業の進捗、隣接する明石港東外港地区との一体的な土地利用も含めた検討状況によっては、時期や内容も含め、変更の可能性があります。	
2.	(4) 施工実績について、 「b 構造性能評価を受け大臣認定を取得した延床面積5,000㎡以上の免震構造の建築物の新築、改築、増築」とありますが、確認書類としてはCORINS又は図面で「免震構造」が確認できるものを添付するという事よろしいでしょうか。	入札説明書 P.4

回 答	<p>施工実績を証する書類については、様式6「施工実績調書」に記載のとおり、工事実績情報サービス（CORINS）又は施工証明書の写し（発注者の押印があるもの）を提出してください。提出できない場合や当該書類では実績の証明に不足がある場合は、図面等の必要な書類を追加で提出してください。</p>	
3.	<p>ウ 施工主任担当者</p> <p>「電気設備施工主任担当者」と「機械設備施工主任担当者」について、同一人物がそれぞれの必要資格を有していた場合、兼任することは可能でしょうか。</p> <p>また、可能な場合は実績審査の「③ 施工主任担当者の実績（電気設備・機械設備）」評価点について、評価基準に応じてそれぞれ加点されるという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>入札説明書 P. 5 施工者選定基準 P. 3</p>
回 答	<p>電気設備施工主任担当者と機械設備施工主任担当者については、それぞれ配置することとしており、兼任はできません。</p>	
4.	<p>下から2行目</p> <p>「・現場代理人、監理技術者並びに建築施工主任担当者の兼任は可とするが、3つ以上の兼任は不可とする。」</p> <p>とありますが、「エ 主任技術者（代表構成員以外の構成員）」についての記載ではなく、「現場代理人、監理技術者並びに建築施工主任担当者」についての記載と考えますが、よろしいでしょうか。</p> <p>また、「現場代理人」と「監理技術者」の兼任が可能であった場合、実績審査の「① 現場代理人及び監理技術者の実績」評価点について、評価基準に応じてそれぞれ加点されるという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>入札説明書 P. 5 施工者選定基準 P. 2</p>
回 答	<p>入札説明書に記載のとおり、「現場代理人」「監理技術者」「建築施工主任担当者」については兼任が可能です（3つ以上の兼任は不可）。</p> <p>ご質問の「現場代理人」と「監理技術者」を兼任した場合を含め、兼任した場合は、いずれか一方のみが実績審査の加点対象となります。</p>	
5.	<p>「ケ CD-R（容量が不足する場合はDVD-Rとする。）に、提出書類の電子データを格納し、提出すること。なお、様式の指定があるものは、PDF形式に変換せず、その他はPDF形式とし、ウイルスチェックを行った上で提出すること。」とありますが、様式12【技術提案書】についてはPDF形式での提出でもよろしいでしょうか。</p>	<p>入札説明書 P. 10</p>
回 答	<p>貴見のとおりです。</p>	

6.	② 施工主任担当者の実績（建築）について、JVsbとして配置された工事でも評価基準に応じて加点対象となるという認識でよろしいでしょうか。また、その際のJV比率については制約が無いと考えてよろしいでしょうか。	施工者選定基準 P.3
回 答	JVでの参加の場合、代表構成員の施工主任担当者のみが加点対象となります（JVsbの配置技術者については加点対象となりません）。	
7.	② 施工主任担当者の実績（建築）および③施工主任担当者の実績（電気設備・機械設備）の評価基準について、「配置」の「A:専任」「B:非専任」に応じて係数を乗じますが、明石市役所新庁舎建設工事での専任および非専任に応じて決定するという認識でよろしいでしょうか。	施工者選定基準 P.3
回 答	本工事に専任する（本工事の開始時点で他工事において施工主任担当者として配置されていない）場合を専任とします。	
8.	ステップ3-2（開発2工区）既存建物解体後の埋戻し購入土の数量については、工事仕様書・設計内訳書を正として見積りますが、実際の埋戻し数量が大きく乖離していた場合、工事仕様書・設計内訳書の数量を基準として、精算していただけたらと考えてよろしいでしょうか。	工事仕様書・設計内訳書（STEP3-1及び3-2） P.66～P.122
回 答	解体後は現状地盤レベルまで埋め戻すこととしており、設計内訳書の埋戻し土量についても当該数量を計上しています。 なお、設計変更については、明石市のホームページに掲載している「明石市工事請負契約約款」及び「建築・建築設備請負工事設計変更ガイドライン（抜粋）」に基づき行います。	
9.	ステップ3-2の仮囲い 万能鋼板 H=3.0については、ステップ3-3（開発3工区（別途工事範囲））にそのまま引き継がれるのではなく、本工事において令和11年3月9日までに撤去すると考えてよろしいでしょうか。	工事仕様書・設計内訳書（STEP3-1及び3-2）P.227
回 答	貴見のとおりです。	
10.	工事ステップ図・仮設計画図について、あくまで参考図という位置づけで、事業者の提案により変更することは可能という考えですがよろしいでしょうか。	A-200～233 工事ステップ図・仮設計画図
回 答	貴見のとおりです。 なお、工事契約後に変更を提案する場合は、施工性だけでなく、来庁者や近隣住民、小学校（通学路）等への影響についても十分検討し、市や工事監理者、設計者等と十分協議の上実施してください。	
11.	市役所駐車場北側の工事車両出入口について、着工後すぐ歩道の切り下げ工	A-200 工事ステ

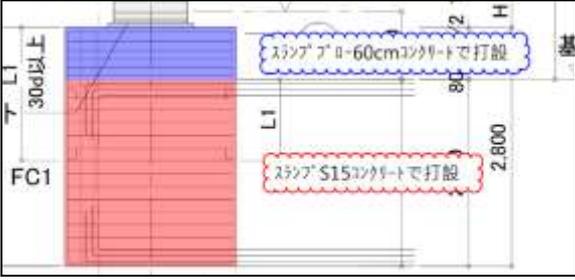
	事に着手可能と考えますがよろしいでしょうか。	upp図(1)
回答	市役所駐車場北側の工事車両出入口については、必要な申請手続きを行った上で歩道の切下げに着手してください。	
12.	ステップ1-1で13 市役所駐車場仮囲い東側にパネルゲートを設置して工事車両出入口を追加することは可能でしょうか。	A-200 工事ステップ図(1)
回答	可能です。 なお、工事車両出入口を追加する場合は、交通誘導員の配置等の安全対策、来庁者や近隣住民、小学校(通学路)等への影響についても十分検討し、市や工事監理者、設計者等と協議の上実施してください。	
13.	仮設駐車場には車いす利用者用の駐車場が計画されていませんが、車いす利用者用の駐車場はどこを想定されていますでしょうか。	A-200 工事ステップ図(1)
回答	ステップ1及び2の工事期間中については、現庁舎敷地内の駐車スペースを継続利用する予定です。 ステップ3-1及び3-2の工事期間中については、仮設駐車場内に車いす利用者駐車場を確保することを想定していますが、仮設計画の変更等により、仮設駐車場からの動線に比べ、新庁舎に近く、安全性の高い場所に車いす利用者駐車場を確保できる場合は技術提案書に反映してください(例:分庁舎北側仮囲い及びゲート位置を変更し、車いす利用者駐車場スペースを確保)。	
14.	ステップ1-2 13 市役所駐車場解体にあたり、土壌汚染対策法にもとづく地歴調査は完了済で汚染のおそれがないことが判明しているということでしょうか。 その他、中崎分署以外の解体建物についても、土壌汚染対策法にもとづく地歴調査は完了済で汚染のおそれがないことが判明しているということでしょうか。	A-201 工事ステップ図(2)
回答	貴見のとおりです。	
15.	ステップ3-2(開発2工区)について、労働力不足等により履行期間内に終了できない恐れがありますが、工期延長することは可能でしょうか。	A-203 工事ステップ図(4)
回答	ステップ3-2についても履行期間内に工事を完成してください。 なお、工事契約後、受注者の責めに帰すことができない事由により、工期内に工事を完成することができないときは、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができます。	
16.	ステップ3-2(開発2工区)について、市道明石中央52号線からの進入禁	A-203 工事ステ

	止措置が必要かと思われませんが、可能として計画してよろしいでしょうか。	upp図（4）
回 答	市道明石中央 52 号線及び市道明石中央 56 号線（中崎小学校前の道路）から市役所敷地内への車両の進入禁止措置は可能ですが、中崎小学校や播陽幼稚園、海岸通りあすのこども園の通学・通園等に支障がでないよう計画してください。	
17.	ステップ 3-2（開発 2 工区）における中崎小学校の通学路について、想定経路をご教授ください。	A-203 工事ステップ図（4）
回 答	明石市民会館交差点から、市民会館西側（市民会館西側の外構工事期間中については、市民会館東側通路）、市道明石中央 56 号線の順に通る、中崎小学校に登校する経路を想定しています。 なお、工事期間中の通学路変更の詳細については、今後、学校関係者等と協議予定であり、現時点では確定していません。	
18.	明石市民会館は公共交通機関での来場を推奨されていますが、ステップ 3-2（開発 2 工区）時における、車いす利用者を含む歩行者のバス停からの想定移動経路をご教授ください。	A-203 工事ステップ図（4）
回 答	仮設バス停から国道 28 号を通り、新庁舎北側エントランス及び市民会館にアクセスする経路を想定しています。	
19.	ステップ 3-3（開発 3 工区（別途工事範囲））の工事着手日について、令和 11 年 3 月 9 日以降でステップ 3-2（開発 2 工区）との調整は無いと考えてよろしいでしょうか。	A-204 工事ステップ図（5）
回 答	原則、ステップ 3-2 の引渡し後にステップ 3-3（別途工事）の工事着手を予定していますが、今後の事業の進捗、隣接する明石港東外港地区との一体的な土地利用も含めた検討状況によっては、内容も含めて変更の可能性があります。	
20.	13: 駐車場 北側の会所・雨水排水管について、A-208 工事ステップ詳細図（4）と K-13-30 解体工事 13: 駐車場 排水図で位置が異なりますが、K-13-30 解体工事 13: 駐車場 排水図が正と考えてよろしいでしょうか。	A-208 工事ステップ詳細図（4） K-13-30 解体工事 13: 駐車場排水図
回 答	A-208 を正としてください。	
21.	工期が約 5 年となり、長期間にわたる、建設となりますが、物価上昇に関しては適時協議して頂けるものとして考えればよろしいでしょうか。また、物価上昇に関しての諸条件等を、ご指示願います。	共通

回 答	<p>物価上昇に関する請負代金の変更に関しては、明石市ホームページに掲載しています「工事契約約款」に基づき協議することになります。</p> <p>物価上昇等の影響を確認できる書類の提出など協議時に契約約款に基づき判断していくことになります。</p>	
22.	建設発生土及び解体ガラ等の搬出物ですが、構外搬出適切処理とありますが、場外指定処分先は無い物として考えますがよろしいでしょうか。	
回 答	貴見のとおりです。	
23.	解体工事に関しては、作業可能時間及び休日の曜日記載がありますが、本体の建設工事に関しては記載がありません。解体工事と同条件と考えますがよろしいでしょうか。また、作業時間及び休日の曜日に関しては、協議により変更して頂けるものと考えてもよろしいでしょうか。	
回 答	<p>解体工事等の騒音・振動が大きく発生する工種の作業曜日・時間については、解体特記仕様書に記載の内容を原則とし、周辺の住環境、小学校、職員の執務環境等に配慮し、市と協議の上決定することとします。</p> <p>その他の工種の作業曜日については、「工事仕様書 3特記事項(5)(6)」に記載のとおりとし、作業時間等の詳細については、上記のとおり、市と協議の上決定してください。</p>	
24.	各会計年度の出来高予定額をご提示願います。	
回 答	各会計年度の出来高予定額については、「請負金額×出来高率（「工事仕様書 2支払条件」に記載の出来高率）」となります。	
25.	STEP2 の市民会館熱源改修工事のは設計内訳書に記載ありますが、入札説明書/2 工事概要/(4)対象工事では●印がなく対象範囲外となっています。対象工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	入札説明書 P.1
回 答	<p>市民会館熱源改修工事のうち、機械設備工事については別途工事とし、建築工事、及び電気工事は本工事としてください。</p> <p>なお、機械設備図 C31 のステップ 1-1 に記載のとおり、既設冷温水管の盛替えについては本工事に含んでいます。</p>	
	(構造)	
26.	既存建物・舗装等 解体後の地盤レベルを御指示下さい。	-
回 答	現状地盤レベルまで埋め戻すこととしてください。	
27.	土工事において、埋戻土・盛土はB種が適用となっておりますが、仮置きが出来ない場合、C種も使用可として宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-12

回 答	仮置きができないことを想定し、A種（一部B種）で設計しており、設計図書のとおり施工してください。	
28.	コンクリートについて、耐久設計基準強度(Fd)は適用しないと考えて宜しいでしょうか。適用する場合は、計画共用期間の級を御指示下さい。	GEN-13
回 答	適用しないと考えてください。	
29.	コンクリートの単位水量、単位セメント量、水セメント比が不明です。 公共建築工事標準仕様書(R4年版)より単位水量 185kg/m <sup>3</sup> 以下、単位セメント量 270kg/m <sup>3</sup> 以上、水セメント比 65%以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-13
回 答	公共建築工事標準仕様書により設定してください。大臣認定品を用いる場合は認定条件に基づき設定してください。	
30.	GEN-13 図にマスコンクリートが適用となっておりますが、該当箇所が不明です。御指示下さい。	GEN-13
回 答	基礎および免震層以下の基礎梁を適用箇所とします。	
31.	設備基礎コンクリートの配合は Fc21-S15 と考えて宜しいでしょうか。又、耐久設計基準強度(Fd)及び構造体強度補正(S)は適用しないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-13
回 答	外構部分の設備基礎は Fc24, S=15 としてください。 建物内部の基礎は取り合うスラブと同仕様としてください。 いずれも、構造体強度補正は適用し、耐久設計基準強度は適用しません。	
32.	B-41 図免震支承ジョイント下の外構躯体下部深層地盤改良において、改良体の設計基準強度・固化材添加量・深さ等詳細が不明です。御指示下さい。	A-112 B-13・41
回 答	下記の仕様と考えてください。 改良体の設計基準強度 : Fc = 150 kN/m <sup>2</sup> 以上 セメント系固化材添加量 : 100kg/m <sup>3</sup> 以上 改良深さ : 設計 GL-10m	

33.	基礎鉄筋は溶融亜鉛メッキ鉄筋(HDZT77)とありますが、免震装置下部の礎柱の鉄筋についても溶融亜鉛メッキは必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-30
回 答	必要と考えてください。	
34.	B-31 図 FG13 基礎梁の端部上端筋・下端筋が断面図とリストで相違しています。リストを正とし、上端筋 60-D25・下端筋 40-D25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-31
回 答	断面図を正とし、上端筋・下端筋ともに 36-D25 (14/14/8-D25) と考えてください。	
35.	B-70 図 共通事項 「設計 GL からの地盤レベルを示す。」とありますが、計画地盤レベルを示していると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-70
回 答	貴見のとおりです。	
36.	B-13 図 基礎伏図において、地盤改良リストでは【○φ2200 246本】と記載されておりますが、伏図には244本となっております。伏せ図を正とし、【○φ2200 244本】と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-13
回 答	伏図を正としてください。	
37.	B-15 図 Y5+5450 とおり ドライエリア部に fb2 基礎小梁の記載がありますが、B-36 図のリストにはありません。fb2→fb3 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-15・36
回 答	fb3 と読み替えてください。	

38.	<p>免震装置下部のコンクリート打継は下記のとおりとして宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	B-30
回 答	貴見のとおりです。	
39.	<p>免震 EXP. J 取り合い擁壁跳ね出しスラブの厚みと納まりが A-66 図と B-41 図で相違します。B-41 図を正とし、配筋要領も B-41 図に記載のとおりと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	A-66 B-41
回 答	形状は A-66 を正として、配筋要領は B-41 にならうこととしてください。	
40.	<p>B-30 図 基礎梁配筋要領図(平面図)に記載の 2□-D25・L-D16@200 の補強筋は B-15 図斜め基礎梁取り合い部にのみ必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	B-15・30
回 答	貴見のとおりです。	
41.	<p>B-70 図各棟及び受水槽における地盤改良(深層混合処理工法)について、施工終了後のコア抜き供試体は下記のうちいずれかで見込めば宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 各棟につき 1 箇所</li> <li>② 全体本数のうち改良コア 100 本を 1 単位として、1 単位毎に 1 箇所</li> <li>③ Step2-2 で 1 箇所、Step3-2 で 1 箇所</li> </ul>	B-70
回 答	コア抜き供試体については棟ごとに②のとおり採取してください。	

42.	B-70 図各棟及び受水槽における地盤改良(深層混合処理工法)の室内配合試験について、各棟につき1箇所見込むと考えるて宜しいでしょうか。各棟をまとめて見込む場合は、箇所数を御指示下さい。	B-70
回 答	貴見のとおりです。	
43.	B-55 図 RC 梁・基礎梁の貫通補強は既製品(タ <sup>ク</sup> イ <sup>ン</sup> 程度)と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-55
回 答	B-55 に記載のとおり、H型配筋にて補強するものと考えてください。	
44.	A-09～10 図に記載の貫通は B-55～56 図に反映されているものと考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-09～10 B-55～56
回 答	貴見のとおりです。	
45.	A-10 図において、増打ちによる水勾配が見受けられますが、厚み 70mm 以上となるか所にはひび割れ防止筋 D10@200 クロス(メッキ無)を見込むと考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-10
回 答	貴見のとおりです。	
46.	免震層下部水槽ピットの耐圧版と基礎梁打継部及び、免震ピットと外周擁壁打継部に止水版が必要と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-10・65
回 答	貴見のとおりです。	
47.	上記質疑に加え、止水版は非加流 <sup>ブ</sup> チ <sup>ル</sup> <sup>コ</sup> ム <sup>ム</sup> 製として宜しいでしょうか。御指示下さい。	-

回 答	貴見のとおりです。	
48.	免震層下部水槽ピットには人通口は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-10
回 答	貴見のとおりです。	
49.	B-41 図にて、土間コンクリートの記載がありますが、使用箇所が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、該当箇所を御指示下さい。	B-17・41
回 答	不要と考えてください。	
50.	A-65 図発電機室において、嵩上げ軽量コンクリートの記載がありますが、GEN-13 図では適用外となっており相違します。A-65 図を正とし、必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-13 A-69
回 答	当該部分については普通コンクリートに読み替えてください。	
51.	上記質疑が正の場合、発電機室以外に軽量コンクリートが必要な場所を御指示下さい。	-
回 答	本工事において軽量コンクリートの適用はありません。	
52.	上記質疑に加え、軽量コンクリートの仕様は【Fc21-S21、1種 1.8~2.1 t/m <sup>3</sup> 】と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	-
回 答	No. 51 のとおりです。	

53.	屋上アスファルト防水下の押えコンクリートは GEN-14 図無筋コンクリートに倣い 普通コンクリート Fc18-S15 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-14 A-69
回 答	標準仕様書 6. 14. 1 によります。	
54.	1FL 以下の躯体において、立上り・擁壁のスラブは S18 とし、それ以外の梁・柱・床・耐圧版は全て S15 と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-13 B-29
回 答	スラブの選択は、コンクリートの所定の性能を満足するように、工事受注者が適切に判断してください。	
55.	工事内訳書 鉄筋工事において、溶融亜鉛メッキ鉄筋は D10・D13・D25 のみですが、B-30～31、41 図では D13～D25 まで必要になります。B-30～31、41 図を正として宜しいでしょうか。異なる場合は修正図の御提示をお願い致します。	B-30～31、41 工事内訳書 P-80
回 答	貴見のとおりです。	
56.	屋上目隠し壁下部において、基礎の配筋要領を御指示下さい。	B-45
回 答	主筋：12-D22、帯筋：□-D13@100、頂部帯筋二重巻きとします。	
57.	屋外階段受け鉄骨下部において、基礎の配筋要領を御指示下さい。	B-63
回 答	主筋：8-D22、帯筋：□-D13@100、頂部帯筋二重巻きとします。	
58.	外周 PC 版取り付く床部に打継が発生するものとし、B-64 図に記載の補強が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-44 B-64
回 答	A-111 のとおりとしてください。	
59.	A-121 図に記載のト型パラペットの配筋要領を御指示下さい。	A-121

回 答	B-03 を参照してください。	
60.	LGS 壁等下部における RC 立上りの配筋要領を御指示下さい。	A-126
回 答	頂部 1-D13、縦筋 D10@200 としてください。	
61.	鉄骨部分スラブ 段差配筋要領について、段差 $H \leq 70$ の場合、〈B-04 図 5.8〉の配筋要領上図に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-04・41
回 答	貴見のとおりです。	
62.	実践と点線でハッチングされたか所が共通事項の凡例に見受けられません。小梁天端ハッチングは FL-265、スラブ天端ハッチングは FL-100 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-22
回 答	貴見のとおりです。	
63.	鉄骨工事特記仕様書にて、「屋外露出となる鉄骨は、全て溶融亜鉛アルミ合金メッキとする。」と記載ありますが、意匠図、構造図共に屋外露出となる鉄骨には溶融亜鉛メッキとする記載が見受けられます。 特記仕様書を正とし、屋外露出部は全て溶融亜鉛アルミ合金メッキと考えて宜しいでしょうか。そうでない場合は、溶融亜鉛メッキ・溶融亜鉛アルミ合金メッキのそれぞれの該当箇所を御指示下さい。	GEN-14 A-23・173 B-38～40、44、45、 65～67 図
回 答	下記のとおりとしてください。 庁舎：屋外露出部はすべて溶融亜鉛アルミ合金メッキ その他の棟：本体鉄骨の屋外露出部はすべて溶融亜鉛アルミ合金メッキ 雑鉄骨はすべて溶融亜鉛メッキ	
64.	上記質疑に加え、溶融亜鉛アルミ合金メッキの規格種類・膜厚および付着量を御指示ください。	GEN-14

回 答	JIS H 8643 の 1 種に基づくと考えてください。	
65.	<B-63 図>にて、EV 母屋取付詳細図が見受けられますが、該当箇所が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は該当箇所を図示にて御指示下さい。	B-63 A-136~143
回 答	不要と考えてください。	
66.	車寄せ、バス停、優先駐車場、来庁者駐輪場に使用するコンクリート仕様が不明です。内訳書より、Fc24-S18cm と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-13 内訳書
回 答	貴見のとおりです。	
67.	上記質疑に加え、受水槽基礎についても同様の配合と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-13 B-65
回 答	貴見のとおりです。	
68.	受水槽 壁 RW30、RW35、RW35A の配筋要領及び厚みを御指示下さい。	B-65
回 答	下記のとおりとしてください。(別紙：B-82 建築工事 追加図面参照) RW30：t=300、縦筋横筋とも D13@200 ダブル RW35：t=350、縦筋 D13@200 ダブル、横筋 D16@100 ダブル RW35A：t=350、縦筋 D13@200 ダブル、横筋 D16@100 ダブル	
69.	受水槽 耐圧盤 FS100 の配筋要領及び厚みを御指示下さい。	B-65
回 答	下記のとおりとしてください。(別紙：B-82 建築工事 追加図面参照) FS100：t=300 短辺・長辺方向、上端筋下端筋とも D13@200 ダブル (モチアミ配筋)	
70.	受水槽 床立上部の配筋は<B-41 図>機械基礎配筋図に倣うと考えて宜しいでしょうか。そうでない場合は、配筋要領を御指示下さい。	B-65

回 答	貴見のとおりです。	
71.	受水槽 底盤底に水勾配が見受けられますが、増打ちによる勾配と考えて宜しいでしょうか。その場合、増打補強要領も併せて御指示下さい。	A-167 B-65
回 答	貴見のとおりです。 増打補強はH=70を超えた場合、D10@200程度を配筋することとさせていただきます。	
72.	受水槽 柱脚部に根巻が見受けられます。配筋要領を御指示下さい。	A-167
回 答	下記のとおりとさせていただきます。(別紙：B-82 建築工事 追加図面参照) sp15w：主筋：6-D22、帯筋：□-D13@100、頂部帯筋二重巻き sp17w：主筋：6-D22、帯筋：□-D13@100、頂部帯筋二重巻き	
73.	受水槽 柱脚部ベースプレート下の壁増打部の配筋要領を御指示下さい。	A-167
回 答	壁の増し打ちではなく、柱型と考えてください。(別紙：B-82 建築工事 追加図面参照) sp15w：柱型 B×D = 400×500 sp17w：柱型 B×D = 400×500	
74.	来庁者駐輪場 1～3の支柱について、意匠図はH-200*200*8*12とありますが、構造図ではH-150*150*7*10と相違します。構造図を正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-175 B-74
回 答	構造図を正とさせていただきます。	
	(外部仕上)	
75.	塔屋、屋上 側溝の防水モルタルにメタルラスを見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-23
回 答	設計図書のとおりメタルラスは不要と見込んでください。	
76.	塔屋の防災アンテナ基礎はベタ基礎と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-08

回 答	貴見のとおりです。	
77.	塔屋、屋上のアスファルト防水の断熱材が、外部仕上表はポリウレタンフォーム、矩計図(1)・(5)はポリスチレンフォームと相違しています。後者を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-23・64・68
回 答	貴見のとおりです。	
78.	押出成形セメント版の取付方法は二次防水工法(ニューセーフティーシール工法)を採用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-14
回 答	お見込みの工法と同等の工法としてください。	
79.	押出成形セメント版の入隅部は、W=600の45°コーナーパネルを見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-14
回 答	入隅はコーナーパネルを使用せず、フラットパネルの突付けとしてください。	
80.	建築工事特記仕様書(3) 鉄骨工事に屋外露出となる鉄骨は全て溶融亜鉛アルミ合金メッキと記載がありますが、外部仕上表、部分詳細図、天井伏図に鉄部は溶融亜鉛メッキと記載が有り相違しています。溶融亜鉛メッキと記載の箇所は溶融亜鉛メッキとし、記載が無い箇所を溶融亜鉛アルミ合金メッキと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-14 A-21・23・122
回 答	下記のとおりとしてください。 庁舎：屋外露出部はすべて溶融亜鉛アルミ合金メッキ その他の棟：本体鉄骨の屋外露出部はすべて溶融亜鉛アルミ合金メッキ 雑鉄骨はすべて溶融亜鉛メッキ	
81.	ALCパネルの出隅部は、コーナーパネル L-300*300 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-14
回 答	フラットパネル突付けと見込んでください。	

82.	部分詳細図(3) 目隠しパネル(ALC)の上端取付金物 L-65*65*6、L-50*50*6 はビ -ス材と考え、L=100 @600 で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-122
回 答	貴見のとおりです。	
83.	屋上目隠しパネル ALC の範囲が、7 階平面図と立面図(1)・(2)で相違していま す。前者を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-08・11・12
回 答	貴見のとおりです。	
84.	部分詳細図(2) ボルトパラペット廻りの手摺支柱と取付 FB に DP の記載がありま すが、手摺笠木に倣い SUS 2B と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さ い。	A-121
回 答	貴見のとおりです。	
85.	部分詳細図(2) 発電機搬入口屋根の太陽光パネル取付金物が建築工事の場合、 仕様、詳細を御指示下さい。	A-121
回 答	GEN-21 車庫棟記載の屋根固定金具と同等品を見込んでください。	
86.	部分詳細図(4) 6 階光庭 天端:ウレタン複合防水の見付仕上は、DP(1 級)と考え て宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-123
回 答	見付は防水を巻き込む形で見込んでください。	
87.	部分詳細図(5) ECP・RC 腰壁取合いに外水切と水抜きパイプの記載がありませ んが、外水切 ステンレス t=1.0 曲げ加工、水抜きパイプ ステンレス φ10 @600 を見込 んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-124

回 答	外水切 ステンレス t=1.0 曲げ加工、水抜きパイプ ステンレス φ10 @1800 を見込んでください。	
88.	部分詳細図(5) ECP・RC 腰壁取合いの L-50*50*6 @900 は、L=100 と考えて宜 しいでしょうか。御指示下さい。	A-124
回 答	貴見のとおりです。	
89.	3 階平面詳細図(2) 光庭の RD 部にウッドデッキの点検口の記載がありませんが、 見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-79
回 答	貴見のとおりです。	
90.	外壁押出成形セメント板の取付金物に、半乾式ロックール吹付を見込んで宜しいでし ょうか。御指示下さい。	GEN-14
回 答	貴見のとおりです。	
91.	部分詳細図(1) 7 階笠木 継手部詳細図のシーリングは、@2000 程度と考えると宜し いでしょうか。御指示下さい。	A-120
回 答	貴見のとおりです。	
92.	外部仕上表 展望テラスの排水溝が防水モルタルですが、防水モルタルの上ウレタン複合防水 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-23
回 答	ウレタン複合防水の上、防水モルタルと見込んでください。	
93.	ウッドデッキの点検口が、建築工事特記仕様書(10) メーカー品番リストは 300*300、部 分詳細図(4) 6 階光庭は 450*599 と相違しています。後者を正と考えて宜し いでしょうか。御指示下さい。	GEN-21 A-123

回 答	GEN-21 を正としてください。	
94.	6階平面図 展望テラスのガラス手摺が、X3 とおり部分のみ H=1700 ですが、他と同様に H=1450 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-07
回 答	貴見のとおりです。	
95.	矩計図(3) 6F テラス天井のアルミサッシが指定柄ですが、明確な範囲を御指示下さい。	A-66
回 答	A-20 6階天井伏図の見切材より建物側の範囲を見込んでください。	
96.	6F 展望テラス天井のアルミサッシが、矩計図(4)は F-BE、矩計図(6)は BA-2 と相違しています。F-BE を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-67・69
回 答	貴見のとおりです。	
97.	外部仕上表 メンテナンスバルコニーの排水溝が防水モルタルですが、防水モルタルの上ウレタン塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-23
回 答	No. 92 と同じとしてください。	
98.	立面図(2) 北側立面図 2 6F X3~5 とおり間の外壁押出成形セメント板が凡例 F3: デザインパネルですが、フラットパネルの様な白地の記載です。フラットパネルと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-12
回 答	貴見のとおりです。	
99.	天井懐内の押出成形セメント板はフラットパネルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-68・69

回 答	貴見のとおりです。	
100.	3～5Fバルコニー PC 壁天端のアルミプレート厚が、部分詳細図(5) 3～5階バルコニー(南)は t=1.5、PC パネル詳細図 A 部は t=2.0 と相違しています。t=2.0 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-124・111
回 答	貴見のとおりです。	
101.	サブエントランスアルミ底の縦樋が 1 階平面図で 1 ヶ所の為、自在ドレンφ75、φ80 はそれぞれ 1 ヶ所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-02・126
回 答	貴見のとおりです。	
102.	軒天アルミサッシドレール～PC 版取合部の納まりが、矩計図はフラット、部分詳細図(5)は L 型見切り付と相違しています。後者を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-64・124
回 答	貴見のとおりです。	
103.	建築工事特記仕様書(8) 内装工事 14. 断熱材でウレタンフォームを排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用する場合は防火コートを施すと記載がありますが、矩計図(1) 2F 軒天内スラブ下の断熱材は、対象外と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-19 A-64
回 答	貴見のとおりです。	
104.	1 階平面詳細図 犬走り床のタイル貼 A とタイル貼 B の仕様及びメーカー・品番を御指示下さい。	A-75
回 答	タイル貼 A とタイル貼 B で色の変更を予定しており、その他の仕様は同じものとします。仕様については GEN-16 のとおり、「LIXIL、ストーンエッジⅡ」同等品としてください。	

105.	矩計図(4) 犬走り床の見付と揚裏仕上は、コンクリート打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-67
回 答	見付面はコンクリート打放補修の上カラークリア塗装と見込んでください。揚裏については貴見のとおりとしてください。	
106.	定礎石が、建築工事特記仕様書(9) エット及びその他の工事は黒御影石 J&P W600*H400、部分詳細図(5)は花崗岩 本磨き 600*600 と相違しています。後者を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-20 A-124
回 答	貴見のとおりです。	
107.	タラップの仕様が、建築工事特記仕様書(8) エット及びその他の工事は SUS304、部分詳細図(3)は SUS316 と相違しています。後者を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-19 A-122
回 答	貴見のとおりです。	
108.	タラップの防護柵が、立面図(3)・(4)は Y3~4 間塔屋が 7FL+2m 以上の部分、X3~4 間議場塔屋が 7FL+2.5m 以上の部分、部分詳細図(3)は高さ 5m 以上の場合は床面より 3m 以上の部分と相違しています。立面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-13・14・122
回 答	A-122 部分詳細図を正としてください。	
109.	建築工事特記仕様書(3) ALC パネル 外壁用に t=150 の記載がありますが、該当範囲を御指示下さい。	GEN-14
回 答	A-127 より 1F 機械設備置場内の ALC 壁と見込んでください。	
110.	5F バルコニー天井のアルミサッシが、矩計図(3)は F-BE、部分詳細図(4)は BA-1 と相違しています。F-BE を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-66・123

回 答	貴見のとおりです。	
111.	床用免震 EXP・J 金物の耐火帯の有無と耐火時間を御指示下さい。	A-112
回 答	耐火帯は不要と見込んでください。	
112.	屋上水下部のドレインへの集水方法は全て増打コンクリートによるスラブ勾配にて行うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-120
回 答	小梁高さの調整によるスラブ勾配にて水勾配を確保し、増打は行わない計画としてください。	
113.	7F 底落し口から各縦樋に接続する呼び樋は共通で凡例 P3 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-08 A-120
回 答	貴見のとおりです。	
114.	各縦樋の伸縮継手について、3F毎に見込と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-16
回 答	伸縮継手は不要と見込んでください。	
115.	平面図凡例 P5・7(縦樋)について、鉛シートは横引樋に関しても見込むと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-21
回 答	貴見のとおりです。	
116.	7F 平面図で X7-8 間の塔屋部縦樋 P2 について、樋の廻りに四角の様な図示がありますが、何を表しているのでしょうか。詳細を御指示下さい。	A-08

回 答	縦樋開放部分に 300×300 の水受け磁器質タイルを設置してください。	
117.	免震層縦樋からの雨水排水管(横引き)について、一部 VP 菅の図示がありますが共通で VU 菅と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-09
回 答	横引き管はすべて VU、周辺側溝からの水抜き孔は VP と見込んでください。	
118.	Y5 通り沿い外構第一雨水柵までの雨水排水管については共通で VU φ 300 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-09
回 答	第一会所までの雨水配管は X4-X5 の VU φ 500 の 1 系統のみと見込んでください (VU φ 300 は会所への接続は無し)。	
119.	縦樋 φ 150 の掃除口について、本物件では該当無しと考えて宜しいでしょうか。該当する場合、範囲を御指示下さい。	A-08
回 答	貴見のとおりです。	
120.	車寄せ・バス停・来庁者駐輪場・優先駐車場の鉄骨支柱足元のウレタン塗膜防水 H=150 は、X-2 カーと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-174
回 答	貴見のとおりです。	
121.	受水槽基礎の仕上は、下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■天端:コンクリート金鍍仕上 ■立上り:コンクリート打放補修仕上	A-167
回 答	貴見のとおりです。	
122.	受水槽 有孔鋼板の手摺高さは、平面図は H=1150、手摺詳細図は H=1200 と相違しております。手摺詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-167

回 答	貴見のとおりです。	
123.	受水槽 オーバーフロー管は、ステンレス φ60 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-167
回 答	貴見のとおりです。	
124.	下記のメーカー・品番がありましたら御指示下さい。 ■床免震エキスパンション金物 ■免震エキスパンションスリットカバー ■優先駐車場 アルミスパンドレル ■バス停屋根 EXP・J 金物	A-112・175
回 答	免震 EXP. J : ABC 商会同等品 免震 EXP. J スリットカバー : カネソウ同等品 スパンドレル : GEN-21 車寄せ欄アルミスパンドレルを参照 バス停 EXP. J : ベクタークラフト同等品	
	(内部仕上)	
125.	風除室の床タイルのサイズについて、仕上表 600 角、特記仕様書 600*300 角で相違しています。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-16 A-24
回 答	貴見のとおりです。	
126.	風除室の点字鋏について、平面詳細図では、靴拭きマット内に設置されています。図面通り、金物面に点字鋏が設置されていると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-74
回 答	貴見のとおりです。	
127.	断熱吹付の仕様について、特記仕様書で A 種 1 となっていますが、製造メーカーの生産状況も考慮し、A 種 1H に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-19

回 答	原則、設計図書のとおり A 種 1 としてください。 なお、工事契約後、メーカーの生産状況等により製造が困難な場合については、市と協議の上設計変更の対象とします。	
128.	議場吹抜壁の吸音ボードの下地について、石膏ボードになると思われませんが、EP 塗装をしています。この面は、見え隠れにならないのでしょうか。御指示下さい。	A-133
回 答	設計図書のとおり EP 塗装を見込んでください。	
129.	議場天井 CH2940 部に、吸気スリット W200 とあります。これは、建築工事でしょうか。建築工事の場合は、仕様が不明です。御指示下さい。	A-132
回 答	建築工事としてください。 吸気スリット部分の仕様については、格子天井裏天井材 GB-R12.5+DR12.0 を W200 で切り欠き、四周塩ビ製見切を設置する形で見込んでください。	
130.	議場の木巾木について、詳細図の腰壁部に記載があります。仕上表では、木巾木とステンス巾木となっています。ステンス巾木はタイル部と思われます。木巾木の範囲は腰壁部のみと考えて宜しいでしょうか。又、7F 吹抜のエリア部の巾木は、ビニル巾木と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-28 A-131
回 答	貴見のとおりです。 7F 吹抜け部は巾木無しと見込んでください。	
131.	議場壁面詳細図の格子部断面図にて、モニター用下地補強近くに、300*300*0.8 PL 補強とありますが、なにもの補強で数量が不明です。御指示下さい。	A-133
回 答	モニター下地は A-127 の TV 天井吊り補強を参照し、数量もそちらを参照してください。	
132.	フローリングの厚みについて、部分詳細図では t=15 ですが、特記仕様書では、t=12 です。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-19 A-125
回 答	貴見のとおりです。	
133.	天井膜ルバーの納まりについて、ウェルカムゾーンでは、天井段差 50 あります。見切金物 (25*100) が取付きますが、この金物で、天井段差の処理を行っている (在来仕上での折上天井は無い) と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-21

回 答	貴見のとおりです。	
134.	1F EV ホール1 の天井仕上が、仕上表 波型と一般部 EP、天井伏図アルミ複合板と岩綿吸音板で相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-24 A-18
回 答	EV ホール波型は仕上げ表（ガラス繊維不織布入り GB-R8+8）を正、一般部は天井伏図（GB-R12.5+DR12.0）を正と見込んでください。	
135.	1F EV ホール1 の壁仕上について、仕上表にて化粧鋼板+PB12.5+12.5 となっています。これは、建具 SFW のことと考え、在来壁(化粧鋼板+PB12.5+12.5)で仕上ではないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-24 A-58
回 答	A-59 の通り、SFW の扉が無い部分は GB-R12.5+12.5+化粧鋼板を見込んでください。	
136.	1F 市民交流スペース展開図 B 面の Y1 側のカーテンウォール近くに下り天井面が出てきますが、スチールプレートとなっています。他の部屋では、壁仕上に準ずるとあります。市民スペースも壁仕上と考え、EP+PB12.5+12.5+LGS65 で考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-92 A-93
回 答	1F 市民交流スペースのみスチールプレートを見込んでください。	
137.	エスカレーター防護柵について、部分詳細図で L 寸法は、ESC 詳細図によるとありますが、寸法まで記載ありません。平面詳細図寸法から L=1200 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-125 A-145 A-74
回 答	貴見のとおりです。	
138.	エスカレーター廻りの仕上について、SD 扉 (SD1-14) の収納部の壁 (KWF1) の壁仕上が不明です。EP+PB12.5+12.5 ステンレス巾木と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-74

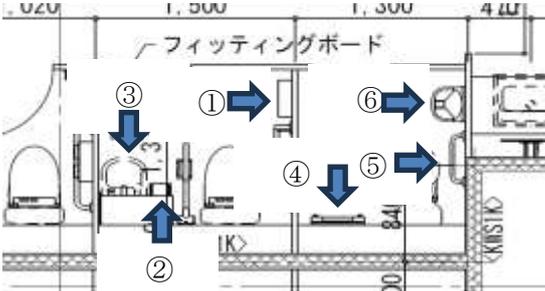
回 答	貴見のとおりです。	
139.	エスカレーター下の掲示スペースについて、展開図の記載のようなマグネット掲示板下地はあるのでしょうか。ある場合は、範囲御指示下さい。	A-93
回 答	マグネット掲示板は不要と見込んでください。	
140.	2F 待合ロビーの巾木について、仕上表ではステンレス巾木です。廊下の巾木がビニル巾木です。廊下と連続するので、待合ロビーもビニル巾木と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-24 A-25
回 答	独立した壁、柱はステンレス巾木、廊下から連続する壁はビニル巾木と見込んでください。	
141.	6F 廊下4の天井高について、会議空調機械室に入る廊下の天井高が、天井伏図にCH=2500 となり、下り天井がある記載です。展開図ではそのようになっています。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-85 A-107
回 答	A-20 天井伏図を正と見込んでください。	
142.	5F 会議室 LLL 兼大会議室の天井に折上天井があり、コーナー部が r=1000 の曲面になっていますが、曲面部はFGボード t=6.0+6.0 の上、布クロス貼と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20 A-27
回 答	A-21 に倣って見込んでください。	
143.	ECP・OPS 塗床に関して、詳細が不明です。機械室・ポンプ室同様の弾性カク樹脂系の塗床と同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-28
回 答	貴見のとおりです。	

144.	消火水槽天井について詳細が不明です。コンクリート打放補修を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	
回 答	貴見のとおりです。	
145.	地下ピット釜場について、釜場内「床:コンクリート金縷 側面:コンクリート打放補修」と記載がありますが、防水処理が必要かと思われます。防水珪藻土(素地)を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-10
回 答	釜場内の仕様は各ピットの仕様に合わせてください。	
146.	免震ピット RC 立上りについて、幅 W 寸法が不明です。W=100 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-09
回 答	W=120 と見込んでください。	
147.	ドライエリア壁、撥水材塗布とありますが、詳細が不明です。メーカー品番等ありましたら御指示下さい。	A-65
回 答	GEN-21 メーカー品番リスト RC 面撥水材の欄を参照してください。	
148.	1F 執務室 1A X6/Y1-Y2a 通りの防煙垂壁について、平面詳細図で（可動）と記載されておりますが、天井伏図では（固定）と記載され相違しております。（固定）で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-18 A-75
回 答	貴見のとおりです。	
149.	1F 保育ルーム 流し台前にライングらしき図示がありますが、水切カバー(ステンレス・W150)で見込んで宜しいでしょうか。また、部分詳細図(9)より、流し台前の壁にキッチンパネルを見込んで宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。（その他室も同様の図示があれば水切カバーで見込み、流し台前にキッチンパネルも見込んでおります）	A-74 A-128

回 答	水切りカバー・キッチンパネルとも不要と見込んでください。	
150.	前述質疑に関連しまして、キッチン <sup>レ</sup> 牀の下地ですが、表層の下地を耐水 PBt12.5 に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-128
回 答	設計図書のまま、GB-R12.5 として見込んでください。	
151.	1F 警備員室の流し台について、仕上表で吊戸棚有となっておりますが、展開図では図示がありません。吊戸棚は有と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-24 A-94
回 答	流し台のみ見込んでください。	
152.	1F 女子更衣室等の仕切り用カーテンレール(天吊タイプ)ですが、高さが不明です。H=300 程度と考えて宜しいでしょうか。また、仕切り用カーテンの高さですが、H=CH-300-200 程度で見込んで宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	A-75
回 答	貴見のとおりです。	
153.	下記室の壁下地について、仕上表で ケイ板 t6.0.+PBt12.5 となっておりますが、平面詳細図の壁符号に K の記載がありません。仕上表を正と解釈し、壁符号の末尾に K が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■3F 各課倉庫(1・4)・待合・待合前室・市長室前室 1・副市長執務室(1・2)・市長応接室(1・2)・市長執務室	A-25 A-78
回 答	貴見のとおりです。	
154.	3F 会議室 LLL 兼災害対策本部の下り天井ですが、構成が不明です。LGS19 型 +PBt12.5+12.5 の上 EP 塗で見込んで宜しいでしょうか。また、見切として、St1.6 加工・SOP の記載がありますが、具体的なサイズ・形状が不明です。議場の天井見切に準ずるものと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	A-98 A-133

回 答	A-21 に倣って見込んでください。	
155.	3F 会議室 LLL 兼災害対策本部 天井伏図に RB の記載がありますが、スクリーンボックスと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (他室も同様に RB の記載があればスクリーンボックスと読み替えております)	A-19
回 答	貴見のとおりです。	
156.	スクリーンボックスですが、スクリーン本体は別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-127
回 答	スクリーン本体の工事区分については電気図面を参照してください。	
157.	3F 市長室前室 1 の天井廻縁について、仕上表で V と記載されておりますが、部分詳細図(10)より、木製廻縁で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-25 A-129
回 答	貴見のとおりです。	
158.	3F 市長室前室 1 及び副市長執務室 1・2 の木巾木について、仕上表で H60 となっておりますが、部分詳細図(10)より、H=100 で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-25 A-129
回 答	貴見のとおりです。	
159.	下記室にて、仕上表にキャビネットと記載がありますが、平面詳細図では図示がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。尚必要な際は、仕様詳細を併せて御指示下さい。 ■3F 副市長執務室(1・2)・市長応接室 2	A-25
回 答	不要と見込んでください。	

160.	部分詳細図(9)/洗面カウンター(市長執務室)ですが、平面詳細図では3F市長執務室に洗面カウンターの図示はありません。部分詳細図通り見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-79 A-128
回 答	設置場所はトイレ前室として見込んでください。	
161.	下記室の洗面台ですが、仕様を更衣室の洗面カウンターに準ずるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■3F 保健室(1・2)・相談室1・産業医室	A-25
回 答	貴見のとおりです。	
162.	4F 教育長室の木巾木・廻縁及び壁面の木化粧目地ですが、3F 市長執務室の木巾木・廻縁及び壁面の木化粧目地と同等と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-26 A-101
回 答	貴見のとおりです。	
163.	4F シャワー室1・2の化粧カウンター及び鏡ですが、仕様が不明です。部分詳細図(9)/脱板棚に準ずるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-26 A-81 A-128
回 答	貴見のとおりです。	
164.	4F シャワー室1・2 仕上表の備考欄に「ライング」の記載がありますが、仕様及び施工範囲が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。尚必要な際は、ライングの具体的な構成・サイズ・施工位置等詳細を併せて御指示下さい。	A-26 A-81
回 答	不要と見込んでください。	
165.	各トイレにおいて、図中の番号が示す箇所は下記の通りで宜しいでしょうか。異なる場合は、御指示下さい。 ・① ベビーチェア 平型 ・② 水平手摺	GEN-21

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③ フィッティングボード</li> <li>・④ コンパクトオストメイトパック</li> <li>・⑤ 不明です。御指示下さい。</li> <li>・⑥ 小物棚</li> </ul> 	
回 答	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小物棚</li> <li>② 紙巻器 (オストメイトパックに含む)</li> <li>③ オストメイト (オストメイトパックに含む)</li> <li>④ フィッティングボード</li> <li>⑤ 水平手摺</li> <li>⑥ ベビーチェア</li> </ul>	
166.	<p>パウダールームにおいて、鏡の記載がありますが、仕様が不明です。参考メーカー品番を御指示下さい。</p>	A-124
回 答	<p>t=5mm による製作鏡による仕様を見込んでください。</p>	
167.	<p>パウダールームにおいて、隔壁はトイレブースと同等と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、仕様及び構成を御指示下さい。</p>	A-124
回 答	<p>厚み：40、表面・エッジ：メラミン化粧板、コア表面：MDF、心材：ペーパーコア、枠：MDF の構成と見込んでください。</p>	
168.	<p>特記仕様書のメーカー品番リストに記載の水平手摺において、親子ブース内とありますが、親子ブースの見分けが不明です。親子ブースを示す場所及び水平手摺を表す図を御指示下さい。</p> <p>.</p>	GEN-21
回 答	<p>1・2・6 階の西トイレ内一番右側のブースが親子ブースと見て、No165 の図の⑤を水平手摺と見込んでください。</p>	
169.	<p>1F 誰でもトイレ他において、小物棚がありますが、仕様が不明です。メラミンボードフォーム t20 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	A-89

回 答	TOTO YKH402R 同等品と見込んでください。	
170.	誰でもトイレにおいて、展開図に鏡がありますが、バック照明付鏡と同等と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、仕様と合わせて御指示下さい。	A-89
回 答	厚み 5mm のステンレス枠の壁付け鏡を見込んでください。	
171.	SK1 他において、展開図にモップ 掛けがありますが、仕様が不明です。御指示下さい。	A-89
回 答	GEN-21 のモップかけパネルを参照してください。	
172.	SK の仕上表に小物収納棚とありますが、特記仕様書のメーカー品番リストに記載の棚板と読み替えても宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-21 A-24
回 答	貴見のとおりです。	
173.	SK において、部分詳細図 (9) 記載の SK 器廻りの詳細図に C-38*15*1.2 SOP とありますが、どこの箇所を示している不明です。図示にて御指示下さい。	A-128
回 答	不要と見込んでください。	
174.	ベビーケアルーム 1・2 において、平面詳細図に流し台がありますが、仕上表には流し台の記載はありません。平面詳細図を正と考え、部分詳細図 (9) 記載の流し台と同等の仕様と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、仕様も併せて御指示下さい。	A-128
回 答	ベビーケアルームに流し台はありません。A-02 のとおり調乳用温水器を設置し、仕様は「Combi 調乳用温水器 CH22-3」同等品としてください。	
175.	SK において、仕上表より巾木がビニール巾木の箇所がありますが、誤記と考え	A-25

	他の SK と同等にステンス巾木を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
回 答	貴見のとおりです。	
176.	多機能トイレにおいて、仕上表備考に記載の下記項目以外は全てトイレパック及び設備工事として考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・おむつ交換台 ・フック ・姿見 その他、建築工事がある場合は御指示下さい。	A-26
回 答	フック、姿見、小物棚は建築工事、その他は設備工事として見込んでください。	
177.	多機能トイレにおいて、西側トイレの 1, 2, 6F には小物棚の図示が展開図にありますが、 他の多機能トイレの展開図には図示がありません。同様に小物棚はあるものとして考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-89 A-90
回 答	1, 2, 6F の多機能トイレのみ小物棚を設置として見込んでください。	
178.	3～5F 給湯室 1 において、仕上表備考に吊戸棚の記載がありますが、展開図には 図示がありません。納まりを考慮してないものとして考えて宜しいでしょうか。 必要な場合は、図示にて御指示下さい。	A-26 A-90
回 答	給湯室 1 も吊戸棚を見込んでください。納まりは A-128 を参照してください。	
179.	5F 前室 1 において、仕上表では巾木がステンスですが、ビニル巾木と読み替えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-27
回 答	貴見のとおりです。	

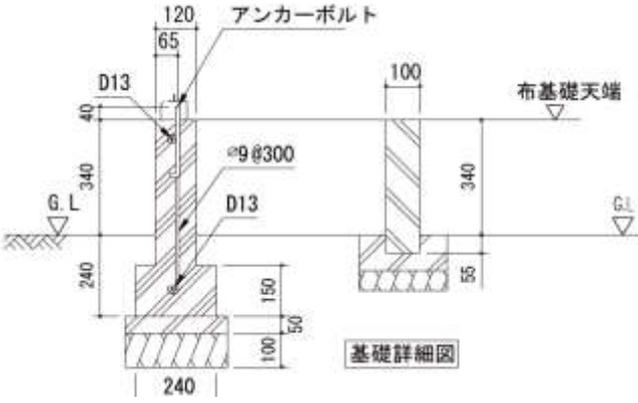
180.	壁の仕上表において、FK(K)とありますが、化粧ケイ酸カルシウム板と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、御指示下さい。	A-24
回 答	貴見のとおりです。	
181.	平面詳細図に壁種凡例で〇〇Kと〇〇+Kがありますが、FK(K)が化粧ケイ酸カルシウム板の仕上の場合において、下記項目の壁符号の時は、次のように考えて宜しいでしょうか。 ・〇〇K 化粧ケイ酸カルシウム板+PB12.5 ・〇〇+K 化粧ケイ酸カルシウム板を増張り	A-24 A-74 A-91
回 答	貴見のとおりです。	
182.	前室2において、仕上表の壁下地で1・2・5・6FはPB12.5+12.5となり、3・4FはFK6.0+PB12.5ですが、平面詳細図では、壁種がPB12.5+12.5となっておりますので、PB12.5+12.5を正として考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-24 A-91
回 答	貴見のとおりです。	
183.	給湯室3において、仕上表では壁下地がFK6.0(ケイ酸板)+PB12.5ですが、平面詳細図の壁種ではKWS1とWS1となっており、PB12.5+12.5で相違しております。 給湯室は水回りと考え、耐水性に優れているケイ酸板を正とし、FK6.0+PB12.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-25 A-79
回 答	貴見のとおりです。	
184.	トイレのライングにおいて、部分詳細図(9)のライング詳細図に東側WCは樹脂フィルム+化粧ケイ酸 t6 とありますが、化粧ケイ酸の上に樹脂フィルムを施工すると考えて宜しいでしょうか。また、併せて樹脂フィルムの仕様及び参考メーカー品番を御指示下さい。	A-128

回 答	貴見のとおりです。樹脂フィルムは 3M ダイノックシート同等品と見込んでください。	
185.	上記の質疑において、西側と東側で区別するラインが大便器・小便器のラインのみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-128
回 答	貴見のとおりです。	
186.	設備取出口内部のウタ吹付は t25 の仕様が不明です。内部の仕様に倣い、A 種 1H ノフロン 不燃と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、御指示下さい。	GEN-19 A-122
回 答	No. 127 のとおりとしてください。	
187.	配管取出口において、平面図には配管取出口 F の記載がありますが、平面詳細図に記載および図示がなく、形状が不明です。配管取出口 F が必要な場合は、図示にて御指示下さい。	A-08 A-87
回 答	A-08 PS2 の西面に面した位置に記載しています。	
188.	3F トイレ(市長執務室横)において、仕上表にブラインドボックスの記載がありますが、取付箇所が不明です。誤記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。必要な場合は、図示にて御指示下さい。	A-25
回 答	不要と見込んでください。	
189.	各トイレの壁において、仕上表と平面詳細図の凡例で下地が相違しております。水廻りですので、仕上表の GB-S12.5+ t12.5 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-23 A-75

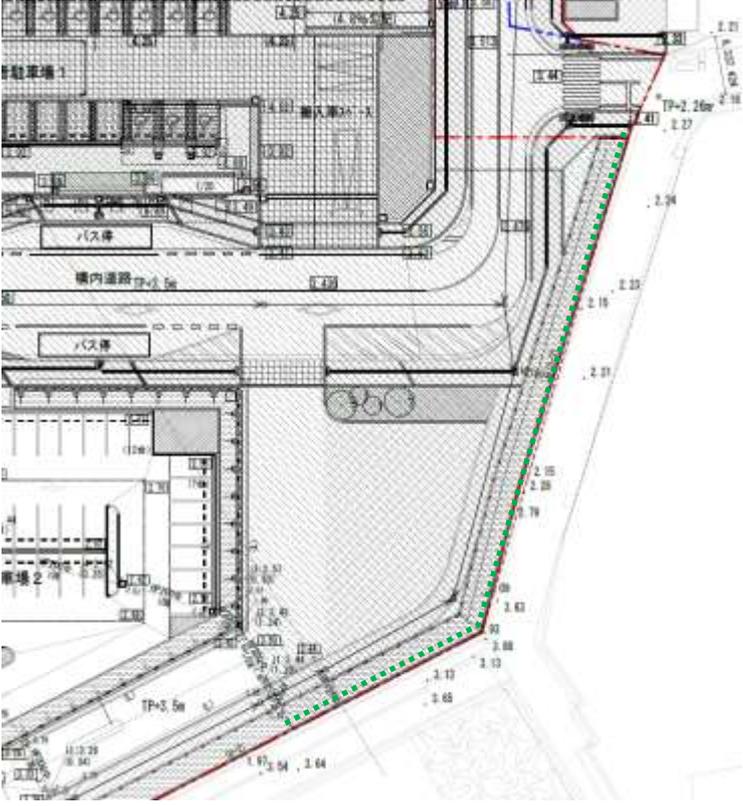
回 答	貴見のとおりです。ただし、防火区画になっている箇所は区画を優先させ、GAFにて見込んでください。	
190.	耐火被覆において、矩計図より巻き付け式耐火被覆は 5F の電気室と発電機室 (1 時間耐火)のみと考え、その他は吹付式耐火被覆と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-69
回 答	貴見のとおりです。	
	(建具)	
191.	衝突防止表示について、建築工事特記仕様書(8)において、別途工事とありますが、建具表 SDW-6 には別途工事の記載がありません。建築工事特記仕様書(8)より別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-19 A-41
回 答	貴見のとおりです。	
192.	建具表(共通事項) ガラのガラス外接続枠裏面の結露防止材(グライト吹付)の厚み、 $t=3$ と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-33
回 答	貴見のとおりです。	
193.	建具表(6) LSD3-9 について、姿図番号:片開C(U)より、小窓がありますが、ガラス種別の記載がありません。フロートガラス $t=5.0$ +飛散防止フィルム(乳白)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-39
回 答	貴見のとおりです。	
194.	AW7-6 について、建具姿図(6)ではバックボートの記載がありませんが、建具詳細図(10)ではバックボートの記載があり相違しています。建具姿図(6)を正、バックボート不要と考えて宜しいでしょうか。バックボートが必要な場合は仕様を合わせて御指示下さい。	A-52 A-63

回 答	バックボードはケイカル板 t=6.0mmEP を見込んでください。	
195.	外部建具枠～外壁取合のシリングについて、特記なき限り 15*10 シングルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
回 答	25×10 ダブルを見込んでください。	
196.	建具姿図(4) ACW1-1 他スチール塞ぎ <sup>ハ</sup> 裡裏面にロックール吹付の記載がありますが、厚みが不明です。御指示下さい。	A-50
回 答	ACW1-3 と同様 t=20 を見込んでください。	
	(外構)	
197.	道路工事 LU 柵について、蓋の記載がありませんが、グレーチング蓋と考えて宜しいでしょうか。仕様はその他街渠柵に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-193
回 答	貴見のとおりです。	
198.	自由勾配側溝蓋について、グレーチング蓋の仕様が不明です。スチール製 T-25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-198
回 答	貴見のとおりです。	
199.	自由勾配側溝柵について、蓋の仕様が不明です。グレーチング蓋と考えて宜しいでしょうか。仕様は上記質疑に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-198

回 答	A-198 に記載のとおり、基本はコンクリート蓋と見込んでください。	
200.	工事ステップ 図 4/ステップ 3-2/工事概要(5)で雨水排水本管設置・雨水排水管接続について、道路計画図に図示はありますが、人孔及び排水本管の仕様が不明です。今回工事に含む場合は仕様を御指示下さい。	A-186. 203
回 答	雨水計画は A-155 を参照してください。	
201.	敷地外外構工事/国道交差点改修について、数量表でインターロッキング舗装の撤去・新設が 8 m <sup>2</sup> 計上されていますが、工事ステップ 詳細図 25 では図示がありません。数量業の数量を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-229
回 答	防護柵の撤去新設工事にて上記の数量を見込んでください。	
202.	西側臨時駐車場出入口改修について、乗入部コンクリート舗装の断面構成が断面図 A とコンクリート舗装詳細図で相違します。コンクリート舗装詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-225
回 答	貴見のとおりです。	
203.	ステップ 2-2/北側歩道整備について、数量表で L 型側溝の撤去の項目がありますが、新設の項目がありません。L 型側溝の新設も必要でしょうか。御指示下さい。	A-202
回 答	撤去・新設ともに不要としてください。	
204.	北側歩道改修について、範囲が不明確です。明確な範囲図を御指示下さい。	A-204

回答	ステップ 3-3 になるため、本工事対象外です。	
205.	STEP1/外構工事/舗装工事の仮設アスファルト舗装 (6.9 m <sup>2</sup> )、アスファルト舗装 (118 m <sup>2</sup> ) の範囲が不明です。それぞれの範囲を御指示下さい。	A-208
回答	A-206 の仮設アスファルトは誘導ブロックの撤去分、アスファルト舗装はデッキ下舗装と見込んでください。	
206.	STEP1/仮設駐車場・バス停整備工事/舗装工事で仮設アスファルト舗装 (274 m <sup>2</sup> ) の範囲が不明です。範囲を御指示下さい。	A-200
回答	基礎やバリカー設置による改修アスファルト舗装範囲です。	
207.	数量表 STEP1/仮設駐車場・バス停整備工事/その他工事でプレハブハウスが計上されていませんが、今回工事に含むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-200. 205
回答	共通仮設工事に計上しています。	
208.	上記質疑が正の場合、RC 基礎の配筋要領が不明です。D10@200 桁ヨコ+端部 D13 を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-205
回答	下記仕様を見込んでください。 	
209.	工事ステップ 詳細図 7 で設備置場の詳細がありますが、数量表には計上されていません。今回工事に含むものと考えて宜しいでしょうか。正の場合は STEP2/外構工事/その他工事で計上すると考えて宜しいでしょうか。御指示下	A-211

	さい。	
回 答	当該図面については内訳書に計上しており、本工事に含まれます。	
210.	凡例 OS-1・2 について、溝深さが不明です。数量表に記載の溝深さに倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-165
回 答	貴見のとおりです。	
211.	凡例 KH-1 カー舗装について、舗装構成が不明です。凡例 AS と同様の舗装構成と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-152. 161
回 答	貴見のとおりです。	
212.	凡例 IL-2 について、インターロッキングブロックの色が外構図凡例では白となっておりますが、外構詳細図 2 では淡グレーと相違します。外構詳細図 2 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-152. 161
回 答	貴見のとおりです。	
213.	数量表 STEP3/雨水排水工事で排水管 HP500・800 が計上されていますが、図示がありません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は範囲を御指示下さい。	A-156
回 答	A-155 を参照してください。	
214.	数量表 STEP3/雨水排水工事で U-2 U型側溝 U-180 が計上されていますが、図示がありません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は範囲を御指示下さい。	A-156
回 答	A-158 に図示しており、以下の緑破線範囲を見込んでください。	

		
215.	<p>数量表 STEP3/囲障工事で BW-1 ベンチウォールが計上されていますが、図示がありません。BW-1 を BW-3 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	A-153
回 答	<p>設計図書に記載のとおり、BW-1～3 を整備してください。</p>	
216.	<p>来客駐車場 1 に 1 階平面図でゼブラ表示の記載がありますが、外構図には記載がありません。必要と考えて宜しいでしょうか。又、仕様は車椅子マークに倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	A-2. 162
回 答	<p>必要と見込んでください。仕様は A-162 を参照してください。</p>	
217.	<p>数量表 STEP3/その他工事で設備基礎 (W600*D400、W800*D400) が計上されていますが、設置位置・詳細が不明です。必要な場合は設置位置・基礎詳細を御指示下さい。</p>	

回 答	本工事範囲外としてください。	
218.	サソ OS-5・OS-12a について、リストでは 3 工区となっていますが、サソ配置図では STEP1・2 工区に記載があります。サソ配置図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-181
回 答	リストを正としてください（本工事対象外）。	
219.	サソ OS-12b について、リストでは 1・2 工区となっていますが、サソ配置図では 3 工区範囲に記載があります。リストを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-181
回 答	配置図を正としてください（本工事対象外）。	
220.	数量表 STEP3/雨水排水工事で排水管 HP φ 300・500・800 が計上されていますが、外構計画図 5 では HP φ 300・500・800 の記載がありません。今回該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は範囲を御指示下さい。	A-156
回 答	A-155 を参照してください。	
221.	数量表 STEP3/雨水排水工事で排水管 HP φ 600 が 188m 計上されていますが、外構計画図 5 では 10.5m 程度の記載しかありません。外構計画図 5 の範囲のみと考えて宜しいでしょうか。否の場合は 188m の範囲を御指示下さい。	A-156
回 答	A-155 を参照してください。	
222.	数量表 STEP3/雨水排水工事で U-2 U 型側溝 (U-180) が 79.8m 計上されていますが、外構計画図 5 では U-2 の記載がありません。今回該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は範囲を御指示下さい。	A-156

回 答	No. 214 の回答を教えてください。	
223.	建物南側スロープ間に凡例※TBとありますが、凡例で※部分は布基礎、外構詳細図4では独立基礎と相違します。どちらが正でしょうか。布基礎が正の場合は詳細図を御指示下さい。	A-153. 163
回 答	基礎形状はA-164 スロープ階段を参照してください。	
224.	工事ステップ図5/整備完了で仮設駐車場撤去とありますが、撤去は開発3工区に含むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-204
回 答	貴見のとおりです。	
	(外構撤去)	
225.	デッキ平面詳細図1中の先行解体範囲について、断面詳細が下記の通り相違しております。工事ステップ詳細図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <b>■デッキ断面詳細図…RC立上り(H=500)囲い、天端コンクリート(t150程度)モルタル金ゴテの上吹付タイル仕上げ</b> <b>■工事ステップ詳細図(1)…縁石ブロック囲い、平板ブロック舗装</b>	K13-11 A-205
回 答	A-205の白抜き部分がデッキの柱になっており、その部分はK-13-11の柱の納まりになっています。	
226.	上記質疑にて宜しい場合、工事ステップ詳細図(1)中の中央柱間立上り表記範囲をデッキ断面詳細図に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	K13-11 A-205
回 答	貴見のとおりです。	
227.	デッキ平面詳細図1中の先行解体範囲について、撤去後アスファルト舗装にて復旧と記載ありますが、舗装構成が不明です。下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <b>■密粒度アスコン厚50+路盤(RC-40)厚150</b>	K13-09

回 答	貴見のとおりです。	
228.	既存バリカ、道路標識撤去時の既存アスファルト舗装について、舗装構成が不明です。 下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■密粒度アスコン厚 50+粗粒度アスコン厚 50	A-206
回 答	貴見のとおりです。	
229.	既存バリカ及び標識撤去後のアスファルト舗装復旧について、舗装構成が不明です。 下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■密粒度アスコン厚 50+路盤(RC-40)厚 150	A-206
回 答	貴見のとおりです。	
230.	08-⑨:CB 塀撤去について、控え壁の範囲も破線まで撤去すると考えて宜しい でしょうか。御指示下さい。	A-221
回 答	貴見のとおりです。	
231.	①:アスファルト舗装撤去(本設 2610 m <sup>2</sup> )について、算出数量は 1873 m <sup>2</sup> と相違してお ります。1873 m <sup>2</sup> を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-226
回 答	図面を正として見込んでください。	
232.	④:雨水側溝(RC)撤去について、詳細が不明です。工事ステップ <sup>°</sup> 詳細図(17)中の 01-⑥に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-221・226
回 答	貴見のとおりです。	
233.	⑤:雨水側溝(U 字溝)撤去について、詳細が不明です。工事ステップ <sup>°</sup> 詳細図(17)中 の 01-⑦に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-221・226

回 答	貴見のとおりです。	
234.	⑩:L型擁壁撤去について、断面詳細が不明です。御指示下さい。	A-226
回 答	A-228の擁壁形状を参照してください。	
235.	⑮:街渠柵撤去について、工事ステップ詳細図(23)では450×450、600×600の2種類ありますが、工事ステップ詳細図(22)で使い分けが確認できません。工事ステップ詳細図(15)中の01-⑬に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-219・226・227
回 答	街渠柵はA-208の仮設会所の撤去になるため、A-208の仕様を参照してください。A-227の街渠柵はA-226国道との交差点付近の⑦と記載がある既設会所の撤去図で、大きさは600×600を見込んでください。	
	(電気設備)	
236.	200V系変圧器結線がD-Yがありますが、Y-Dと考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	E-02
回 答	複数の結線方式を採用することで高調波の低減が期待できることから、設計図書のとおりとします。	
237.	饋電盤からの送り先が同一電気室ですが、DGRは必要でしょうか。御指示ください。	E-02
回 答	設計図書のとおりとします。	
238.	蓄電池充電電流と負荷電流を合計すると整流器容量20Aを超過しますが、よろしいでしょうか。御指示ください。 $(100\text{Ah}/10)+(16+3)=29\text{A}$	E-14
回 答	整流器の容量計算については瞬時負荷(16A)を対象としないため、設計図書のとおりで問題ありません。	
239.	接地極からCubまでの接地線保護管が金属管ですが合成樹脂管でなくてもよろしいでしょうか。御指示ください。	E-16

回 答	合成樹脂管としてください。	
240.	動力制御盤の特記仕様書について 「2. ユニット型簡易…」の記載がありますが、公共建築工事標準仕様での対応でも問題ないでしょうか。御指示ください。	E-29
回 答	設計図書のとおりとします。	
241.	携帯電話不感知対策は 5F 携帯基地局へ配線されるものと考えますが、「空配管 E63」は各階 EPS までと考えてよろしいでしょうか。御指示ください。また、どのような配線を何本想定されていますか。	E-94～100
回 答	貴見のとおりです。 配線については同軸ケーブルを必要台数分想定しており、詳細は工事段階での協議により決定します。	
242.	新設部埋設配管の土工事は内訳書に記載がありますが、埋設配管撤去に対する土工費の記載がありません。撤去の掘削、埋戻しは別途としてよろしいでしょうか。御指示ください。	E-178～181
回 答	設計図書に記載のとおり本工事としてください。	
243.	埋設配管に関係する施工で発生する既設物の撤去・復旧の施工範囲は、図示されている範囲のみでよろしいでしょうか。御指示ください。 STEP1 「アスファルト撤去・復旧」 STEP2 「アスファルト撤去」	E-178～181
回 答	貴見のとおりです。	
244.	「建物と同時撤去できる電線管やケーブル等については図示していないが、本工事の撤去範囲とする。」との記載ですが、どの範囲までを電気工事で撤去と想定されていますでしょうか。隠ぺい部、CON 打込部は新築一括撤去でよろしいでしょうか。御指示ください。またケーブルラック、配線器具等、詳細撤去範囲をご指示下さい。	KE-01～07

回 答	電線管やケーブル等の撤去については本工事範囲ですが、建物と同時に撤去することとしており、電気設備工事で撤去する範囲は撤去機器リストに記載のとおりです。	
245.	自家発電機関係は「機器基礎」「防護フェンス」の撤去が電気工事範囲ですが、その他記載のない基礎、フェンス撤去は建築工事範囲でよろしいでしょうか。御指示ください。	KE-04
回 答	貴見のとおりです。	
	(機械設備)	
246.	換気設備の保温において全熱交換ユニットの給気・外気・排気の保温範囲は記載がありますが、還気ダクトの保温範囲が不明です。御指示下さい。	GEN-22
回 答	全熱交換ユニットの還気ダクトは保温不要です。	
247.	排煙ダクト工法の記載がありません。アングルフランジ工法と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-22
回 答	貴見のとおりです。	
248.	2階福祉コンビニに冷凍・冷蔵庫(別途工事)がありますが、ドレン配管の記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-15 D-19
回 答	ドレン配管は必要とし、1階天井内にある最寄りドレン配管に接続してください。	
249.	特記仕様書では冷媒管屋外露出はステンレス鋼板ですが、平面図では高耐食亜鉛メッキ鋼板になっています。平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-22 D-24

回 答	図面指示のとおり、屋外露出箇所における冷媒管の保温外装は「ステンレス鋼板」とし、冷媒配管用ダクトの材質は「高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板」としてください。	
250.	議場詳細図では制気口の結露対策を検討と記載がありますが、制気口リストでは結露防止型になっていません。御指示下さい。	D-34
回 答	結露対策については、周囲環境・使用条件等を勘案し、工事管理の中で有効な対策を検討してください。	
251.	量水器はパルス発信式になっていますが、中央監視盤への配線・配管・結線は電気工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-04
回 答	貴見のとおりです。	
252.	駐車場内の給水埋設管及び排水埋設管に対してコンクリート保護は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-05
回 答	貴見のとおりです。	
253.	当建物は海岸間際にありますが、湧水ピットへの海水流入を考慮して海水仕様は見込まなくて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-04 C-01
回 答	図面指示のとおり、ポンプ PD-1A・1B の材質は強化樹脂製としてください。その他の機器についても図面指示のとおりです。	
254.	雨水遮断弁廻りの雨水フレキ（免震フレキシブル継手）は建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-09
回 答	貴見のとおりです。	
255.	1 階 0A 室と執務室 1A の間に防火区画はありませんが、ダクトに防火ダンパーを設置するようになっていきます。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-147 D-26

回 答	貴見のとおりです。	
256.	逆梁部に受水槽用デッキ及び手摺を設置するようになっていますが、建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-167 C-01 C-20
回 答	貴見のとおりです。	
257.	工事ローテーション図(2)に⑧空調熱源の新設と記載していますが、工事内容が不明ですので、御指示下さい。	C-32
回 答	C-32のステップ2-1⑧「空調熱源の新設」については別途工事にて発注予定です。なお、No.25に対する回答のとおり、空調熱源の新設に伴う建築工事及び電気設備工事については本工事であることから、D61～66に工事内容を示しています。	
258.	機器表では受水槽はステンレス製パネル型になっていますが、メーカーリストではステンレス製一体型に●印となっています。御指示下さい。	GEN-23 C-01
回 答	受水槽についてはパネル型又は一体型のいずれでも可とします。 なお、GEN-23に記載の●印は「設備機材等評価名簿に記載のない機材等」を示し、今回工事における機器の仕様を指定するものではありません。	
259.	給水管材料はポリエチレン管になっていますが、接合方法が不明です。内訳書より電気融着継手のポリエチレン管と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-22 内訳書 445 頁
回 答	貴見のとおりです。	
260.	機器表で消火用充水タンクは保温無し、内訳書では保温ありになっています。非寒冷地・防錆(ステンレス)より保温は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-22 内訳書 459 頁
回 答	貴見のとおりです。	
261.	屋外露出機器は耐重塩害仕様になっていますが、外壁設置のベンドキャップ及びウェザーカバーは耐重塩害塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-01 D-32

	い。	
回 答	図面指示のとおり、ベンドキャップ及びウェザーカバーの材質についてはステンレス製とし、塗装仕様は貴見のとおりです。	
262.	衛生器具表では屋外に散水栓が 33 個設置となっていますが、平面図では 32 個と思われます。御指示下さい。	C-03 C-05
回 答	平面図指示のとおりとしてください。 ただし、C-05 の特記 5 に記載のとおり、公用車駐車場、来庁者駐車場 2、ゴミ庫、付属棟(車庫棟)、公用・職員駐輪場の給排水設備工事は将来工事となります (C-03 に記載のとおり、全体数量のうち 19 個は別途工事にて発注予定)。	
263.	1 階西側トイレ詳細図の誰でもトイレに洗面器が 2 組図示していますが、衛生器具表では洗面器が 1 組しかありません。御指示下さい。	C-02 C-14
回 答	器具表 (C-02) に記載の数量を正としてください。	
264.	衛生器具表では厨房への水栓 (水用 3 個、湯用 3 個) となっていますが、詳細図では水用 7 個、湯用 7 個と思われます。御指示下さい。	C-03 C-21
回 答	厨房の給水設備工事については図面指示箇所への配管の立ち上げ (バルブは含む) までとし、水栓の設置は厨房設備工事 (別途工事) とします。	
265.	屋上に壁付散水栓 BOX を 6 個設置するようになっていますが、Y2 通りにある散水栓 BOX が壁に設置出来ないように思えます。御指示下さい。	C-13
回 答	RC 基礎に露出で設置可能です。	
266.	機器表と平面図 (意匠図) の消火器台数が異なります。御指示下さい。	C-01 A-04
回 答	機器表 (C-01) に記載の数量を正としてください。	
267.	免震用架台の材質は溶融亜鉛メッキ仕上げ鋼材と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-07

回 答	貴見のとおりです。	
268.	4 階平面図で EHP-406D (2 台) が図示されていますが、機器表には記載がありません。EHP-406C (2 台) と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-04 D-21
回 答	貴見のとおりです。	
269.	5 階執務室 5B の空調機 (EHP-0EHP-501B) が平面図では天井カセット 4 方向ですが機器表では天井カセット 2 方向です。御指示下さい。	D-04 D-22
回 答	天井カセット 4 方向としてください。	
270.	解体工事図では既設機器及び既設配管 (外構除く)・ダクトの撤去図がありませんが、内訳書に記載内容のみ機械設備工事と考えれば宜しいでしょうか。御指示下さい。	内訳書 201 頁 K-01-34
回 答	既設配管 (外構除く)・ダクトの撤去については本工事範囲ですが、建物と同時に撤去することとしており、機械設備工事の撤去範囲については内訳書のとおりです。	
271.	既設機器撤去に伴う臭化リチウム量及び冷媒量が不明です。御指示下さい。	内訳書 224 頁 内訳書 225 頁
回 答	以下の数量を参考値として活用ください。ただし、積算に当たっては、図面に図示される内容も勘案した上で見積りしてください。 <臭化リチウム量> RH-2-1 : 1700kg RH-2-2 : 1700kg RH-6-1 : 600kg <冷媒量> 本庁舎事務棟 : 60kg 本庁舎窓口棟 : 242kg 窓口南会議室棟 : 15kg 公用車管理事務所 : 10kg 本庁舎議会棟 : 30kg 庁舎南会議室棟 : 50kg 西庁舎事務棟 : 10kg	

	分庁舎事務棟：10kg 中崎分署本館：62kg 国保レセプト：20kg	
272.	既設冷却塔の材質が不明です。FRP 製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	内訳書 204 頁 内訳書 206 頁
回 答	貴見のとおりです。	
273.	屋外露出ダクトはステンレス鋼板になっていますが、OA・EAガラリチャンネルの材質は亜鉛鉄板と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-22 D-26
回 答	貴見のとおりです。	
274.	平面図では6階厨房はストレートシロッコファン (FE-T603) になっていますが、機器表では天井扇になっています。御指示下さい。	D-14 D-31
回 答	機器表に記載の仕様を正としてください。	
275.	6階のEAガラリ (EAG-6-13) に対して1系統のダクト接続ですがCDが設置しています。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-31
回 答	議場の排気が接続されるため、CDは必要です。(D-34 参照)	
276.	6階電気室のエア搬送ファンは2台同時発停になっていますが、発停制御工事は電気工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-14
回 答	同時発停制御は取り止めとし、個別発停とします。	
277.	排気フード用グリスフィルターの予備フィルターは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-33

回 答	貴見のとおりです。	
278.	手動開放装置制御線用の配管及びアウトレットボックスは電気工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-11 D-35
回 答	機械設備工事としてください。	
279.	工事区分表では厨房機器に対して斜線表記となっておりますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN-11 C-21
回 答	貴見のとおりです。	
280.	バリアフリースイレパックの型番はベビーベット及びベビーホルダーが含まれていますが、工事区分表では建築工事になっています。御指示下さい。	GEN-11 C-02
回 答	ベビーベット及びベビーホルダーについては建築工事とし、その他はすべて給排水衛生設備工事としてください。	
281.	調乳用温水器はシンク・混合水栓共に建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C-14
回 答	貴見のとおりです。	
282.	EHP 系統と GHP 系統でそれぞれ集中管理コントローラーを設置しますが、GHP 系統と EHP 系統の製造者を統一しなくても宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-37
回 答	統一は不要です。	
283.	機器表で 5 階電気室の設備用エアコンはワイヤードリモコンですが、平面図ではリモコン配線が見当たりません。本体で操作と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-07 D-43

回 答	貴見のとおりです。	
284.	5階委員会室(1・2)において平面図では空調機に加湿配管が接続していますが機器表では加湿器がありません。御指示下さい。	D-08 D-22
回 答	機器表に記載の内容を正としてください。	
285.	空冷HPエアコンの冷媒がR410Aになっていますが、フロン排出抑制法により2025年4月より出荷不可になります。R32冷媒と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-01
回 答	R410Aの機器としてください。法改正等により機器の仕様変更が必要となった場合は、その都度、対応を協議します。	
286.	新冷媒R32化に伴う冷媒配管漏洩対策は必要でしょうか。御指示下さい。	D-01
回 答	No.285に対する回答のとおりです。	
287.	当物件は重塩害地域ですが、5階電気室以外の外気ダクトに除塩フィルターはありませんが、外気ダクトは垂鉛鉄板と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-14
回 答	貴見のとおりです。	
288.	バンドキャップの形状が不明です。 深型フード程度と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-32
回 答	貴見のとおりです。	
289.	工期は特記仕様書の令和9年3月～令和10年3月と 公告文のSTEPE1,2、3-13-2は締結日～令和11年3月です。公告文が正で宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN22 公告文

回 答	貴見のとおりです。	
290.	市民会館熱源改修は別途工事で工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。この 図面は配置図のどこに当たりますか。上記工期外で発注されるのでしょうか。 御指示下さい。	D61～66
回 答	No. 257 に対する回答のとおりです。 配置については、C-32 のステップ 2-1⑧の位置です。 発注時期については、2026 年度（令和 8 年度）を予定しています。	
291.	図面表 機械設備で D58～60 は欠番と考えて宜しいでしょうか。 機械設 備解体工事 KM-01～13 図面が見当たりません。御指示下さい。	GEN02 GEN31
回 答	D-58～60 については貴見のとおり欠番です。 機械設備解体工事図面（KM-01～13）については明石市ホームページの入札 コーナー（ <a href="https://www.city.akashi.lg.jp/zaimu/keiyaku_ka/ichiran-koji_20240722.html">https://www.city.akashi.lg.jp/zaimu/keiyaku_ka/ichiran-koji_20240722.html</a> ）よりダウンロードしてください。	
292.	TW-1 受水槽の架台の寸法、歩廊有無をご指示願います。立面図では点検の為 せり出しています。基礎下場への階段は建築工事でしょうか。御指示下さい。	C01、C20
回 答	A-167 を参照してください。	
293.	PFU-1, PFU-3 の揚程が異なりますが 補助加圧ポンプの揚程を 75m に上げる 必要はないでしょうか。御指示下さい。	C01
回 答	PFU-3 補助加圧ポンプの揚程は 80m としてください。	
294.	PU-2 雑用水ポンプの水量は 480L/m ですが ピット平面図は 50A⇒65A、合流 後配管、量水器は 65A⇒100A としてよろしいでしょうか。御指示下さい。	C1 C4 C7 C20
回 答	合流前の給水配管は図面指示のとおり 50A とし、合流後配管及び量水器は 100A としてください。	
295.	1 階ポンプ室 同上合流地点で防振継手 5 0 A × 2 個、6 5 A を配管途中に	C20

	設置すると思われませんが設置目的を御教授願います。	
回 答	当該の防振継手は設置不要とします。	
296.	衛生器具表で屋外、ゴミ庫、車庫棟は器具が別途工事となっていますが C5 配置図で配管工事の別途範囲、別途器具の位置を御指示下さい。	C3 C5
回 答	C-05 の特記 5 を参照してください。 なお、別途工事の範囲については C-34 に記載の範囲です。	
297.	全体配置図で会所表の A~C 桝は本工事で宜しいでしょうか。御確認下さい。 (ゴミ庫、車庫棟用)	C5 C6 C32
回 答	会所 A~C については別途工事です。	
298.	庁舎の排水の配置図で㊸が接続桝、下水接続は 200A の記載がありますが 他に下水接続はないものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	C5 C6
回 答	貴見のとおりです。	
299.	ピット平面図の緊急排水槽の通気に設置免振フレキは 平面図の番号を J⇒ E と変えてよろしいでしょうか。口径は合流後 100A⇒125A として宜しいで しょうか。御指示下さい。	C4 C7
回 答	通気の免震フレキについては番号 J を E に読み替えてください。 また、配管合流後の口径は 125A としてください。	
300.	切替桝の仕様、深さ及び吊り下げ架台の断面図をご指示願います。架台 30H とは 300H でしょうか。御指示下さい。	C4 C7

回 答	切替桝はアロン化成 ESC-T（参考品番）同等品としてください。 吊り下げ用の専用架台はメーカー標準品とし、図面に記載の架台 H30 はメーカー標準品の専用架台寸法を示します。 なお、切替桝の取付高さは「1FL-2200H×2 箇所」、「1FL-1800L×2 箇所」、「1FL-1500L×1 箇所」としてください。	
301.	PD-1A, 1B 湧水ポンプ×5組の雨水桝接続位置を御指示下さい。	C4 C7
回 答	A-156 に記載の雨水桝 f 5、f 7、f 10 にそれぞれ接続してください。	
302.	沈砂槽への雨水流入管、遮断弁の位置及び建築工事区分を御指示下さい。口径は D46 図の 500A の VU 管で宜しいでしょうか。御指示下さい。	C4 C7
回 答	雨水流入管は A-09、遮断弁の位置は D-48 を参照してください。 なお、口径は 500A となります。	
303.	給水、雑用水で 1～4 階取出系統で減圧弁を設置していますが ピット階雑用水補給水及び 1 階消火系統も減圧弁は必要でしょうか。御指示下さい。	C4
回 答	ピット階雑用水補給水及び 1 階消火系統についても減圧弁を設置してください。	
304.	4 階男女更衣室に設置ユニットシャワーは建築工事として宜しいでしょうか。御指示下さい。	C3 C17
回 答	貴見のとおりです。	
305.	平面図では厨房の高温排水管の配管材は不明です。内訳書に記載の HTVP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C21 内訳書 453 頁
回 答	貴見のとおりです。	
306.	ステップ 3-1 新庁舎仮使用で ⑩既設排水撤去の参考内訳がありません。桝、配管撤去は本工事でしょうか。御指示下さい。	C33

回 答	当該撤去工事についても本工事の範囲内です。 (参考内訳書 194、219～222 頁を参照してください)	
307.	ステップ 3-2 既存建物撤去 外構工事で⑪⑫の参考内訳がありません。撤去は本工事でしょうか。御指示下さい。	C33
回 答	当該撤去工事についても本工事の範囲内です。 (参考内訳書 194、219～222 頁を参照してください。3-2 についても 3-1 内訳に含んで積算しています。)	
308.	⑬人孔柵高さ調整で図面は 7 組、内訳書は 8 組です。内訳書を正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	C33
回 答	貴見のとおりです。	
309.	屋外雑用水 散水配管は参考内訳書の通り、ステップ 3-2 に計上で宜しいでしょうか。御指示下さい。	C5 C33
回 答	屋外散水用の雑用水配管は、(STEP1 及び 2) 内訳書 468 頁及び (STEP3-1 及び 3-2) 内訳書 196 頁に記載のとおり、ステップ 2 及びステップ 3-2 に計上してください。	
310.	ステップ 3-3 将来工事の柵高さ調整は別途工事で宜しいでしょうか。御指示下さい。	C34
回 答	貴見のとおりです。	
311.	5階電気室、発電機室系統の大風量給気には除塩フィルターを設置しますがフィルターまでのダクト材質を御指示下さい。	D25 D3 1 D32
回 答	亜鉛鉄板としてください。	
312.	屋外露出ダクトの材質 及び厨房ダクト板厚を御指示下さい。	D25 D32

回 答	屋外露出ダクトは、D-32 に記載のとおりステンレス製としてください。 厨房ダクトの板厚は、D-33 に記載のダクト寸法から適切な板厚を選定してください。	
313.	外気処理 OEHP 系統の風量測定口の設置で 0A 側と SOA 側両方に設置するようになっていますが片側設置ではいけない理由を御教授願います。	D26～32
回 答	外気処理 OEHP 系統の風量測定口については 0A 側のみで可とします。	
314.	4 階サーバー室設置冷専パッケージはダクト引ですが静圧 150Pa で宜しいでしょうか。また吹出口は結露防止型で ボックスは内貼 25 t のみで宜しいでしょうか。御指示下さい。	D7 D29
回 答	貴見のとおりです。	
315.	X3 Ya2 の排煙 DS は 縦穴区画でしょうか。また冷媒管 OEHP-402, -403, GHP503, -504 が防火区画貫通処理となっていますが必要でしょうか。御指示下さい。	D15 D35
回 答	排煙 DS は 縦穴区画であるため、6F 床スラブ面の防火区画貫通処理は不要ですが、5F 床スラブ面及び 5F 壁面の防火区画貫通処理は必要となります。	
316.	加湿給水は口径が記載されていませんが衛生より 2ヶ所の分岐以降 機器接続まで 20A で宜しいでしょうか。御指示下さい。	D15 D16
回 答	貴見のとおりです。	
317.	室外機は重塩害仕様ですが 室外機用ドレンパンはステンレス製で宜しいでしょうか。御指示下さい。	D1～D9
回 答	室外機用ドレンパンについてはメーカー標準品で可とします。	
318.	水熱源ヒートポンプ空調機の室内機 WHP-101a, b, c で送風量は D26 図の器具表の風量と異なります。器具表風量に相当する機器風量を御指示下さい。	D9

回 答	D-9 の機器表及び D-26 の制気口に記載の合計風量は整合しています。 図面指示のとおり、WHP-101A・B・C の機器風量はすべて 2,280 m <sup>3</sup> /h としてください。なお、D-26 の室内機チャンバーBOX リストのうち、I 及び J の風量は 1,680 m <sup>3</sup> /h→2,280 m <sup>3</sup> /h に読み替えてください。	
319.	1 階ダクト平面図の室内機チャンバーリストで C、D は PEHP-104・204A を追加して 1 組⇒2 組として宜しいでしょうか。御指示下さい。	D26
回 答	貴見のとおりです。	
320.	4 階ダクト平面図の室内機チャンバーリストで E は ACP-401A は 2 台あるの で 1 個⇒2 個として宜しいでしょうか。御指示下さい。	D29
回 答	貴見のとおりです。	
321.	6 階議場の SA ダクトで X3～4 間に設置 BL-D 1000L にダクトが接続されて いません。ダクト接続を御指示下さい。	D34
回 答	400×350 の SA ダクトより 300φ のダクトを延長し、各制気口には 200φ の ダクトにて接続してください。	
322.	地中熱利用設備の機器表で熱源水ポンプは SUS 製ですが 密閉膨張タンクは 鋼板製の仕様で宜しいでしょうか。	D54
回 答	貴見のとおりです。	
323.	地中熱利用設備の免振層に免振フレキ接手 50A×2 個設置しますが 仕様及 び免振フレキ架台の寸法を御指示下さい。	D54
回 答	免震フレキの仕様については、D-55 に記載のとおりです。 架台は、C-07 に記載の架台参考図の仕様に準じ、サイズは 300mm × 300mm × 1500mmH (床固定) 及び 300mm × 300mm × 1800mmH (天井固定) とし てください。	
324.	議場システムの床置全熱交換器 HEU-625 に床面ゴムパッド敷は不要でしょ うか。御指示下さい。	D12

回 答	設置してください。	
325.	1階ダクト図で廊下1の器具表 VHS 250×250 SOA 270m <sup>3</sup> /h×1個の設置場所が不明です。位置をご指示願います。	D26
回 答	当該器具の設置は不要です。	
326.	4階サーバー室 PAC の1台送風量 8400m <sup>3</sup> /h です。2台中1台はバックアップでダクト送風量は平面図の様にバイパス設置して1台分のダクト外風量寸法で宜しいでしょうか。御指示下さい。	D7 D29
回 答	貴見のとおりです。	
327.	4階サーバー室は給排気換気がありませんが 宜しいでしょうか。御指示下さい。	D29
回 答	設計図書のとおり不要です。	
328.	6階ダクト平面図 多目的飲食スペースの器具表で EHP (OEHP) -606B 用 VHS 350 □ SOA 540m <sup>3</sup> /h×4個となっていますが平面図より2個として宜しいでしょうか。御指示下さい。	D31
回 答	EHP (OEHP) -606B 用×2、OEHP-601B 用×2 の計4個のため、図面指示のとおり個数としてください。	
329.	リモコン配線計装図で加湿制御は OEHP のみとなっていますが 空調機器表で EHP、GHP (9+11台) は部分的に加湿器設置があります。ON-OFF 制御行いますか。御指示下さい。	D1～D9 D37
回 答	計装図では外付けヒューミにて加湿制御を行う機器のみを対象としており、室内機側で制御 (室内機のサーモ ON・OFF 連動) を行う機器は対象外としています。	

330.	全熱交換器のリモコン個数で空調機器表と計装図で異なります。全熱交換器の台数は機器表の 114 台、リモコン個数は系装図の 109 個として宜しいでしょうか。御指示下さい。	D10～D12 D30
回 答	機器表に記載のリモコン数を正としてください。	
331.	議場天井部に BL-D (1000L) が 6 個設置しますが、X3 通り寄りの 3 個に SA ダグ外が接続していません。天井チャンバー方式とも見えませんので御指示下さい。	D-34
回 答	No. 321 に対する回答のとおりです。	
332.	●排水設備●配管材料(1)屋内 汚水雑排水管が、硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (横引き) 及び耐火二層管 (VP) (縦管) となっております。65mm以上の排水横引き管については区画貫通 1mは、耐火二層管と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GEN22
回 答	貴見のとおりです。	
333.	給排水衛生設備工事 機器表で、屋外設置の機器は、重耐塩害仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C1
回 答	機器表に記載のとおり材質・構造・仕上げとします。	
334.	配置図より 2 か所の水道本管延伸工事が本工事となっておりますが、設備工事では難しいと考えられます。本管延伸は別途工事として本管以降の新庁舎用 75A 引込、付属棟・来庁者駐車場用 40A 引込から本工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C5
回 答	敷地北側の本管延伸工事 (150CIP) は本工事の範囲です。敷地西側の本管延伸工事 (100CIP) については、ステップ 3-3 工事に該当するため別途工事となります。	
335.	1 階ポンプ室廻り詳細図に消火水槽並びに消火系ポンプとの自動制御設備図の記載がありません。御指示下さい。	C20

回 答	消火ポンプについては機側盤での制御となるため、自動制御は不要です。	
336.	給排水衛生設備工事 消火設備工事 ※注記 ・天井無しの部分については感熱開放継手+開放ヘッドの対応とする。とありますが、A 28 仕上表 (5) では、6階の直天は、議場空調機械室のみとなっています。スプリンクラー設備の感熱開放継手+開放ヘッド対応は、なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C29
回 答	貴見のとおりです。	
337.	展望テラス 1.2 に SP ヘッド <sup>®</sup> の設置がございしますが、塩害対策の SP ヘッド <sup>®</sup> はありませんので、耐塩素イオン対応の SP ヘッド <sup>®</sup> で (DQPT II 型フレームタイプ <sup>®</sup> ) 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C29
回 答	貴見のとおりです。ただし、この場合においても関係法令 (基準含む) に適合した製品としてください。	
338.	工事ローテーション図(1)よりステップ 1-1①、1-2④にて既存の下水インフラ撤去工事(ヒューム管 300φ)が本工事とありますが、設備工事では難しいと考えられます。下水インフラ配管新設と同様別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C31
回 答	図面指示のとおり、C-31 のステップ 1-2④工事は本工事とします。 なお、当該埋設配管については既存立体駐車場の基礎に近接した深さに埋設されているため、解体工事と同時に撤去することとなります。	
339.	工事ローテーション図よりステップ 1-1①既設冷温水管盛替え、ステップ 2-1⑧空調熱源の新設、ステップ 3-2⑩冷温水管の撤去は空気調和設備工事の範囲と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C31~C34
回 答	ステップ 1-1①「既設冷温水管盛替え」及びステップ 3-2⑩「冷温水管の撤去」は本工事範囲です。ステップ 2-1⑧「空調熱源の新設」は別途工事となります。	
340.	ステップ 3-3 図の将来工事は今回の見積から省くものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	C34

回 答	貴見のとおりです。	
	以上	

- ・明石市総務局財務室契約担当へ電子メール（keiyaku@city.akashi.lg.jp）で送付してください。
- ・質問に対する回答（質問回答書）は、明石市ホームページ「入札コーナー」に公表します。
- ・質問がない場合は送信していただく必要はありません。

鉄骨二次部材リスト

- 共通事項 (特記なき限り)
- ・ 鋼材種別 SN400A とする。
  - ・ ボルト 特記なき限り 高力ボルト (HTB) F10T、メッキボルトは F8T とする。
  - ・ GPLは 母材と同材質とする。
  - ・ 小梁継手TYPEは A-TYPE とする。
  - ・ 屋外露出となる部材は 溶融亜鉛メッキ 550 g/m<sup>2</sup> 以上とする。
  - ・ 雨水のたまる部分には 水抜き穴を設ける事。(20φ@1500以内)

符号	部材メンバー	接合ボルト	ガゼットプレート (GPL)	スプライスプレート (2-SPL)	備考
sb15A	[-150x75x6.5x10	2-M16	PL-6		
sb15w, csb15w	H-150x150x7x10	2-M16	PL-6		
sb14h	H-148x100x6x9	2-M16	PL-6		ヨコ使い
sb20h	H-200x100x5.5 x 8	2-M16	PL-6		ヨコ使い
V1	1-M20 (ターンバックス締め)	1-M20	PL-9		鉛直ブレース

鉄骨間柱 リスト 1:50

- 共通事項 (特記なき限り)
- ・ 鋼材種別は SN400A とする。
  - ・ ボルトは 高力ボルト (HTB) F10T、メッキボルトは F8T とする。
  - ・ ガゼットプレートは 母材と同材質 とする。
  - ・ 屋外露出となる部材は 溶融亜鉛メッキ 550 g/m<sup>2</sup> 以上とする。
  - ・ RC柱型で主筋間隔300を超える場合、ひび割れ防止筋D13@300を配筋すること。

符号	sp15w	sp17w	sp20w
部材メンバー	H-150x150x7x10	H-175x175x7.5x11	H-200x200x8x12
柱脚	露出柱脚	露出柱脚	露出柱脚
ベースプレート	BPL-22 x 250 x 310 (SN490C)	BPL-25 x 250 x 335 (SN490C)	BPL-25 x 250 x 400 (SN490C)
リブプレート	2PL-9 x 100 x 250 (SN400A)	2PL-9 x 100 x 250 (SN400A)	-
アンカーボルト	4-M20 (ABR400, L=204, 定着板付き)	4-M20 (ABR400, L=204, 定着板付き)	4-M22 (ABR400, L=204, 定着板付き)
形状			
柱型			
主筋	6-D22	6-D22	8-D22
フープ	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100
備考	頂部フープは二重巻きとする 受水槽目隠し受け鉄骨	頂部フープは二重巻きとする 受水槽目隠し受け鉄骨	頂部フープは二重巻きとする 市民会館設備階目隠し受け鉄骨

床版リスト

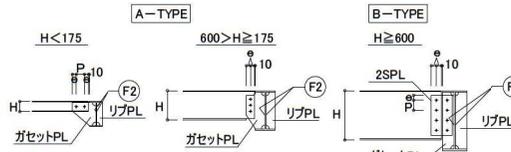
- 共通事項 (特記なき限り)
- ・ 直押え部分は スラブ天端増打 ①10 とする。
  - ・ 土に接するスラブ下地業は 捨コンクリート ②50、砕石 ③60 とする。

符号	版厚	層	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配筋筋方向)	備考
FS100	300	上	D13 @200	D13 @200	
		下	D13 @200	D13 @200	
FS200	200	上	D13 @200	D13 @200	
		下	D13 @200	D13 @200	

小梁継手要領図 (リブプレートは GPLと同材質・同厚とする)

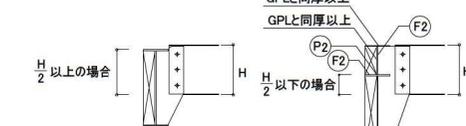
- 特記なき限り
- ・ リブプレートは GPLと同材質・同厚とする。
  - ・ 座屈止め要領と仕様異なる場合は、座屈止め要領を優先する。
  - ・ ガゼットプレート形状については座屈止め要領を考慮して定める。

(1) 一般継手要領

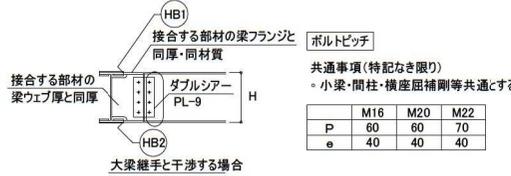


・ガゼットプレートテーパ部形状は監督員の承諾を得て変更可

(2) 大梁と小梁に段差がある場合

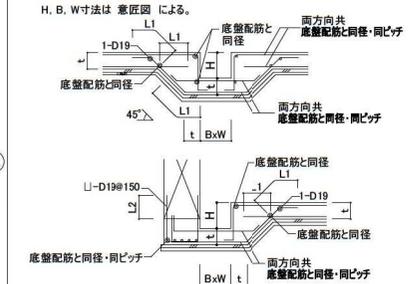


・大梁下端より小梁下端が下に来る場合も上記に準ずる。

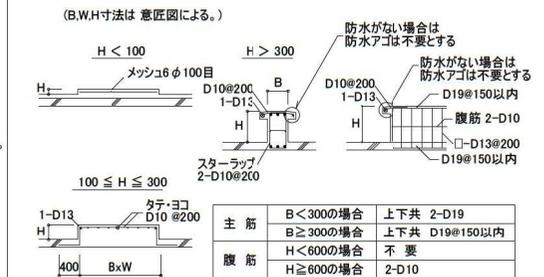


共通事項 (特記なき限り)  
・小梁・間柱・横座屈補剛等共通とする。

釜場配筋要領図 1:50



機械基礎配筋図 1:50



壁リスト 1:50

- 特記なき限り
- ・ 巾止筋は タテヨコ共 D10@1000以下 とする。

符号	RW18	RW30	RW35	RW35A
壁厚(mm)	180	300	350	350
断面 (鉛直断面)				
縦筋	D13 @200 ダブル	D13 @200 ダブル	D13 @200 ダブル	D13 @200 ダブル
横筋	D10D13 @200 ダブル	D13 @200 ダブル	D16 @100 ダブル	D16 @100 ダブル
開口部補強筋	縦筋	4-D13	4-D13	4-D13
	横筋	4-D13	4-D13	4-D13
斜筋	6φ-100目シングル	6φ-100目シングル	6φ-100目シングル	6φ-100目シングル
備考				

明石市政策局 企画・調整室

代表設計者	一般建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨
構造設計者	一般建築士 国土交通大臣登録 第291941号 構造設計一般建築士 国土交通大臣登録 第1142号 田中 智

明石市役所新庁舎建設工事

種別	B	建築工事	図面種別	備考
種別	82	追加図面	図面種別	※※※
種別		安井建築設計事務所	図面種別	※※※